

平成28年度 採用案内パンフレット

総務省 一般職

MINISTRY OF INTERNAL AFFAIRS AND COMMUNICATIONS



先輩からのメッセージ 

Contents

総務省入省後のキャリアステップの一例	3
--------------------	---

放送・情報通信・郵政行政

総務省？	情報通信国際戦略局国際協力課企画調整係長 杉本 高一	5
ICT利活用で豊かな社会を	情報流通行政局情報通信利用促進課企画係長 東出 朋子	6
私たちに“身近な”放送を考える	情報流通行政局衛星・地域放送課課長補佐 広瀬 賢太郎	7
未来のために自分がすべきこと	総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課企画係長 樋口 有二	8
情報通信技術を活用し、よりよい社会を実現する	総合通信基盤局電波部電波環境課監視管理室 小柳 春菜	9
先輩の一日 ある国際会議の一日	情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室国際企画係 小嶋 麻友	10

行政制度の管理運営

国民の権利利益の救済	行政管理局主査 葉柴 洋祐	11
華やかなプレーと厳しい練習	行政評価局総務課企画官 佐々木 淳	12
私たちの生活を支える統計の底力	統計局統計調査部国勢統計課統計専門職 大八木 聡	13
確かなエビデンスで政策を支える	統計局統計調査部経済統計課統計情報官 衛藤 美和	14
統計調査の合理性・妥当性について審査をしています。	政策統括官(統計基準担当)付統計審査官付統計利用専門官 山下 博礼	15
先輩の一日 調査がある日の一日	行政評価局評価監視官(内閣、総務、規制改革等担当)室 山崎 茜	16

地方自治行政

地方の元気を引き出す力になろう！	自治行政局地域自立応援課企画係長 萩原 良智	17
時代に即した選挙制度を目指して	自治行政局選挙部選挙課主査 荒居 陽子	18
地方財政の使命	自治財政局調整課企画係長 富澤 尚史	19
ふるさとを思いながら	自治税務局企画課 木村 友哉	20
全国に交流を広げられる場所	消防庁国民保護・防災部防災課応急対策室応急対策第一係長 酒井 晋一郎	21
先輩の一日 大公開！若手職員の日々	自治行政局公務員部福利課 田川 陽子	22

新規採用職員アンケート	23
--------------------	----

先輩からのメッセージ（地方支分部局）

柔らかい発想が行政を動かす！	関東管区行政評価局第一部長 松田 綱児	25
国民の目線に立って	山形行政評価事務所行政相談課業務係長 佐藤 夏子	26
不法電波から暮らしを守ります	北海道総合通信局電波監理部調査課 波間 広輔	27
やりがいを感じられる職場です。	関東総合通信局放送部放送課 末次 正幸	28

中堅職員インタビュー	29
-------------------	----

先輩からのメッセージ（地方自治体・海外・出向・留学）

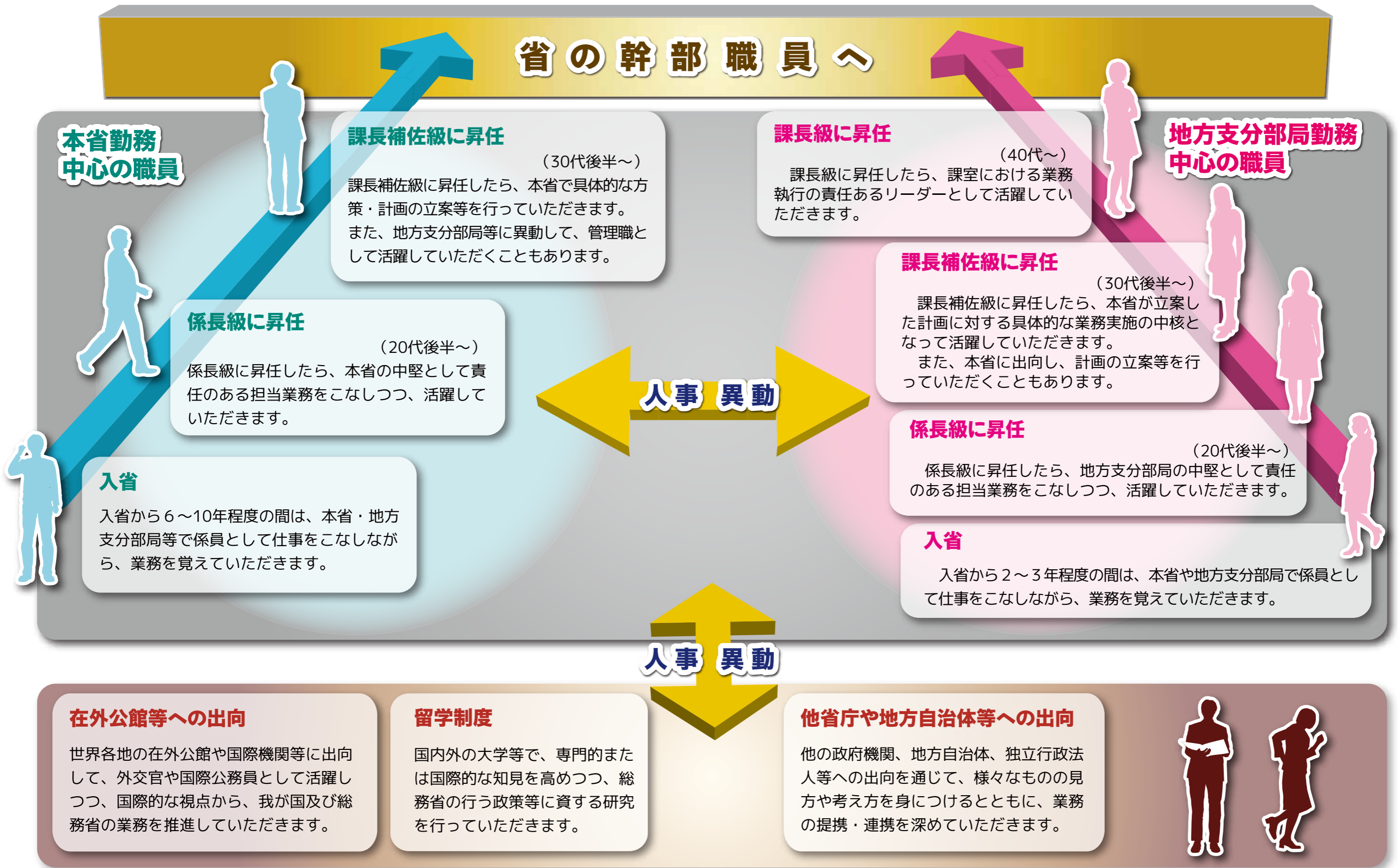
国家公務員の人事行政を担う	内閣官房内閣人事局(労働係 兼 国際係) 石川 由佳	31
復興庁福島復興局での仕事	福島復興局参事官付主査 坂本 浩一	32
一歩先を見据えて市町村とともに	徳島県政策創造部地方創生局市町村課長 山口 憲明	33
地方創生人材支援制度1期生	千葉県いすみ市参事 早川 卓也	34
様々な方との出会いを通じて	岩手県政策地域部市町村課 中田 哲平	35
地方の現場で学ぶこと	鹿児島県総務部市町村課 柿本 克俊	36
ロシアでの在外公館勤務	在ロシア日本国大使館二等書記官 廣瀬 謙	37
一緒にステップアップしていきましょう	人事院行政官長期在外研究員(米シシガン大学) 田中 一樹	38

ワークライフバランス	39
-------------------	----

Q&A	40
総務省の組織	41
連絡先	42
アクセス	裏表紙

キャリアステップの一例

これはあくまで目安です。本人の勤務成績や希望等により変わります



01

情報通信国際戦略局

PROFILE Sugimoto Koichi

平成21年 4月 総務省採用
情報通信国際戦略局情報通信政策課

平成23年 4月 奥州市総合政策部
まちづくり推進課主事

平成25年 4月 総合通信基盤局電気通信事業部
高度通信網振興課

平成27年 8月 現職

情報通信国際戦略局
国際協力課企画調整係長

杉本 高一

平成21年入省

総務省？



とある
一週間

● 月曜日

課内ミーティングで前週の業務進捗状況と、今週の業務予定を共有。

● 火曜日

午前中に事業者との打ち合わせ、午後は省幹部の出張に向けた打ち合わせ。

● 水曜日

翌日の自分の国外出張に向け、資料等を準備。

● 木曜日

国外出張に出発。到着後、大使館で会議に向けた直前の打ち合わせ

● 金曜日

国際会議に出席。終了後は報告資料の作成準備。

▶) 日本のICTを世界へ

私の所属する国際協力課は、ICT分野における諸外国・機関との調整や日本のICTの国際展開の推進を担っており、私はアジア（東南アジアを除く）、中東、アフリカ及び大洋州地域を担当しています。

今やICTは、私たちの生活に欠くことのできないものですが、単なる便利ツールとしてだけでなく、様々な社会的課題の解決に資するツールとしてもその役割が期待されるようになっていきます。一方で、発展途上国にはICTインフラが十分に整備されていない国も多くあります。これらの国々に日本の質の高いICTインフラを展開させることができれば、発展途上国の生活水準向上に貢献できる上、我が国経済の持続的な成長にもつながります。ただ、国際展開を図る上で、対象国の法制度、文化や商慣習の違いといった様々な課題もありますので、関係省庁や在外公館等と連携しながら、我が国のICT関連企業の海外展開の後押しをしています。

▶) いろいろできるよ総務省

「総務省」という名称を初めて目にした時、何をしているところなのかイメージできなかった方も多くいるのではないのでしょうか。実際、友人に職場を聞かれた時に、「総務省」と答えると、たいていの人は頭の上に？マークを浮かべます。その実態は、統計、地方自治、情報通信など、多岐に渡る業務を行っているわけですが、その中でも情報通信分野は目まぐるしく変化と進歩が続いている分野です。業務上、事業者の方々とお話をしている、まだ商用化されていない技術を紹介してもらった機会もあるなど、新しいもの好きの人にはびったりな職場だと思います。

また、今は国際関係の業務に従事していますが、過去には岩手県内の自治体に出向した経験もあります。当時は東日本大震災の直後で苦労もありましたが、環境も業務内容も非常に新鮮で、とても有意義な経験をさせていただいたと感じています。



Private Time

元々体を動かすことが好きなので、週末はフットサル、テニス、スノーボードをしていることが多いです。特にフットサルは省内のチームに所属していて、毎年目標としている大会での優勝を目指し、練習に励んでいます。

ICT利活用で
豊かな社会を情報流通行政局
情報通信利用促進課企画係長

東出 朋子

平成20年入省

PROFILE

Higashide Tomoko

平成20年 4月 総務省採用
情報通信政策局衛星放送課国際放送推進室

平成20年 7月 情報流通行政局衛星放送課国際放送推進室

平成21年 9月 情報流通行政局衛星・地域放送課国際放送推進室

平成22年 7月 情報流通行政局放送政策課

平成23年 7月 大臣官房会計課

平成26年 4月 現職

とある
一週間

月曜日

週明け早々、研究開発施策の制度変更に関する検討依頼が接点。頭を悩ませます。

火曜日

本年度の補助先へ訪問。研究開発の進捗状況や経理処理状況等について、実地調査を行います。

水曜日

月曜日の依頼に対する担当者案を作成。課内で検討し、ブラッシュアップして回答。

木曜日

ウェブアクセシビリティに関する研究会に出席。学識経験者、自治体職員、関連企業の方々の熱い議論に一生懸命ついていき、今後の施策の検討に活かします。

金曜日

新規に研究開発の実施を検討している事業者からの相談対応。

社会のだれもがもっと豊かに

私は現在、ICTを活用した情報バリアフリー環境の整備、特に障害のある方等が使いやすい情報通信機器やサービスの開発・提供への助成や、主に公的機関に対しウェブアクセシビリティの向上の推進を行っています。

みなさんは、視覚障害のある方も私たちと同様に携帯電話やパソコンを活用していることをご存じでしょうか。以前は、情報を得たい、ちょっとしたことを知りたいと思っても、隣で読んでもらうなど周囲の協力が必要でしたが、インターネットが普及した現在では、ウェブがアクセシブルでさえあれば、画面読み上げ機能などを活用することで、誰の手を借りなくてもリアルタイムで欲しい情報を得たり、また知りたいことを調べたりすることができるのです。

上記以外にも、ICTの利活用により利便性が向上する場面はまだまだまだあります。障害のある方を含めた誰もが豊かに生活できる社会の実現の一助になればという思いで日々の業務に取り組んでいます。

俯瞰し、想像する力

入省以来、国際放送関係部署、省の会計関係規定や外部監査に関する部署、現在のICT利活用を推進する部署と、様々な部署で働く経験をさせていただきました。

外部監査に関する部署では、省の取りまとめとして会計検査院と折衝する中で、各局各課の最新動向やその分野の抱える課題等、テレコム部局全体の動きを把握する機会、そしてそれら業務が国民の目にはどう映るのか、第三者的な視点で見つめる機会に恵まれました。

また現在の部署では、事業者や当事者の方の声を聴きつつ、それぞれの立場を最大限想像し、どうあるのが一番良いのかを考え施策を検討する機会に恵まれました。時には深く迷うこともありますが、それは誰のためなのかを常に想像し、豊かな経験と信念を持つ上司にアドバイスをいただきながら業務を進める日々です。

総務省にはこの他にも実に様々な業務があり、豊かな経験を積むことができると思います。ぜひ一度、足を運んでみてください。



カンボジアにて

Private Time

散歩や旅行が好きで、休日は外出してリフレッシュすることが多いです。季節の良い時期には大学時代の友人達と歴史的な空間を求めて全国各地を巡ったり、皆で長期休みを合わせて海外に行ったりしています。また最近では、自治体に向向している同期や、大使館勤務の先輩を訪ねるなど、新しいメンバーとの旅行も楽しんでいます。

03

情報流通行政局

PROFILE

Hirose Kentaro

平成10年	4月	郵政省採用 大臣官房人事部人材開発課
平成10年	7月	通信政策局情報企画課
平成12年	7月	通信政策局総務課
平成13年	1月	情報通信政策局総務課
平成14年	8月	大臣官房総務課
平成16年	7月	総合通信基盤局電波部電波政策課政策係長
平成18年	8月	参議院法制局第三部第二課参事
平成21年	7月	情報流通行政局地上放送課計画係長
平成 3年	8月	情報流通行政局地上放送課第一業務係長
平成26年	8月	情報流通行政局放送政策課事業振興係長
平成27年	8月	現職

情報流通行政局
衛星・地域放送課課長補佐

広瀬 賢太郎

平成10年入省

私たちに
“身近な”
放送を考える



とある一週間

● 月曜日

今週一週間の業務を確認。4K配信に取り組む放送事業者から課題等をヒアリングし、今後の業務に活用。

● 火曜日

4K・8K放送に関する技術実証について、進捗を踏まえ今後の進め方に関し実施事業者と意見交換。

● 水曜日

4K・8K放送に使用する無線局の免許方針について、ライン内で論点を検討し、案を策定。

● 木曜日

医療やサイネージの分野での4K・8Kの活用事例について視察。また、業務に関連する他局の会議を傍聴し、議論を把握。

● 金曜日

策定した免許方針案について、課長に説明し、指摘があった事項について引き続き検討。

🔊) 新しい放送サービスの実現

皆さんは「4K・8K」をご存じですか。「4K・8K」とは映像の規格で、4Kは画素数が現行ハイビジョンの4倍、8Kは同16倍あり、高精細で立体感や臨場感ある映像を実現するものです。国、放送事業者、メーカー等で策定した「4K・8K推進のためのロードマップ」では、2020年に、4K・8K放送が普及し、多くの視聴者が市販のテレビで4K・8K番組を楽しんでいること等を目標としています。

このロードマップに沿って関係者の取組が進められており、2015年にCS（通信衛星）等で4K実用放送が開始されました。2018年にはBS（放送衛星）等で4K・8K実用放送を開始することとされており、私の所属課では現在そのための制度の整備、技術実証の支援等に取り組んでいます。今後放送を行う事業者の申請を受け付け、認定を行う予定です。国民視聴者が期待する新しい放送サービスの実現に取り組むことは非常に意義深いと思っています。

🔊) 放送もあります

私はここ数年放送に関する業務に携わっています。放送は、いち早く様々な情報を入手する手段として中心的な役割を担ってきたと思います。総務省では、放送が引き続き国民視聴者から期待される役割を担えるよう課題に取り組んでいます。

私が携わった中で特に印象に残るのは、テレビ放送のデジタル化です。ご存じの通り、アナログ放送の停波のためには、各家庭のテレビ等の受信機がデジタル化される必要がありました。この難しい課題を伴う停波を大きな混乱もなく実現できたのは、総合通信局を含め携わる職員があらゆる対策に一丸となって取り組めたからであり、私自身、貴重な経験をしたと感じています。取組を通じ、放送がいかに国民に浸透し、必要とされているか実感もしました。

ICTというとインターネットなど通信サービスを思い浮かべる方も多いと思いますが、放送もあります。ICTに少しでも関心がある方にはぜひ総務省を訪れてほしいと思います。



Private Time

休日は地図から目的地やルートを選んでよく歩いています。健康を意識したのがきっかけですが、実際に歩いてみると毎回ちょっとした驚きや発見があって、継続の原動力になっています。最近では某国の大使館がごく普通のマンションに入っていてびっくりしました。日常に大使館がある生活とはどんなものなのでしょうね。

未来のために 自分がすべきこと

総合通信基盤局電気通信事業部
事業政策課企画係長

樋口 有二

平成18年入省

PROFILE

Higuchi Yuji

平成18年	4月	総務省採用 総合通信基盤局総務課
平成18年	8月	総合通信基盤局電波部電波環境課
平成21年	7月	大臣官房秘書課
平成23年	7月	情報流通行政局情報流通振興課情報セキュリティ対策室
平成24年	8月	総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課専門職
平成26年	8月	総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課主査
平成27年	8月	現職



とある一週間

月曜日

今週予定している業務を上
司に説明。進捗報告・認識
共有は基本です。

火曜日

法令改正の内容について関
係省庁と打合せ。主張が激
しくぶつかります。

水曜日

データ収集と会議資料の準
備。難しい制度の説明もわ
かりやすく表現。

木曜日

会議当日。自分が作った資
料が世に出ると、ちょっと
グッときます。

金曜日

事業者との打合せと、次回
会議のネタ探し。終わった
ら飲みにもでいくな(笑)

次世代への移行を仕掛ける

このパンフを読むくらいの年代の方は携帯電話の某アプリで普段から連絡を取っていると思いますが、携帯電話が便利になっていく裏で、昔から通信を担ってきた固定電話にも革新の時期が近づいています。電話をつなげる従来の設備が古くなってきたので、全国的に更改する必要が出てきたのです。

実感が湧かないかもしれませんが、昔ながらの固定電話の設備とその仕組みは今でも多く利用されています。これが無いと困る人もいます。

何事も、新しいものにシフトする時は多くの問題が出ます。必要なモノ・費用はどれくらいか、設備を変更したらサービス内容も変わるんじゃないのか。大きい事業者、小さい事業者、利用者の主張を聞き、ルールを整えなければなりません。

利用者に不便さを、事業者に不公平さを感じさせること無く、今のサービスを次世代へスムーズに移行させるために何をすべきか。議論は始まったばかりです。我々の使命の大きさを実感しています。

それ、やろう。

公務員という決まった作業を淡々とこなすイメージがありますが、中央省庁ではそういう運用面より、むしろ(少なくとも総務省は)次世代を見据え、世の中のルールをどう創りあげていくのかを企画・判断する仕事の方が多いです。特に情報通信は技術革新やモノ・サービスの変化が激しい分野なので、皆が常に新しい考えで仕事に臨んでいます。

そんな総務省の“売り”は、やりたいことがあるなら主張できる風通しの良さ、そして実行できる懐の広さ、だと思います。もちろん、中央省庁という立場上いろんな人が関わるので調整が難しいこともあります。でも、それを乗り越えてやり遂げる気がある人を妨げることはありません。

資料の印刷はコピー機がやります。上司だってお茶くらい自分で汲みます。あなたがやることは、通信がどう発展すれば生活がより良くなるかを考え、世に示していくことです。通信、生活を、国を、変えてみたいですか？ 道は、拓けています。



Private Time

自称・ロック馬鹿です。海外の大物が来日すると聞けばライブ会場へと車を走らせます。好きなバンド、好きな曲、素晴らしいパフォーマンスを目の当たりにする興奮は言葉では表せません。最近は歳のせいかゆっくりと楽しむことが増えました。気がつくとも会場の前方に移動して盛り上がっている自分がいます。気をつけよう……

05

総合通信基盤局

情報通信
技術を活用し、
よりよい
社会を
実現する

総合通信基盤局電波部
電波環境課監視管理室

小柳 春菜

平成23年入省

PROFILE Koyanagi Haruna

平成23年 4月 総務省採用
総合通信基盤局
電気通信事業部データ通信課
平成25年 7月 総合通信基盤局電波部基幹通信課
平成27年 4月 現職

🔊) どんな不法電波も見逃さない電波監視システム

高度情報社会の進展に伴い、携帯電話や放送など、電波は私たちの生活に深く関わっています。電波はとても便利である反面、ルールを守って利用しなければ混信や妨害、電波障害を起こすなどデリケートな性質を持っています。そのため、総務省では、電波発射源の方位等を測定する電波監視システムを配備し、ドクターヘリの無線や船舶、航空機の緊急通信に妨害を与える不法電波について、24時間体制で監視を行っています。

私の業務は、将来の電波監視システムのあり方を見据え、新しい無線通信技術にも的確に対応出来る電波監視システムの整備・運用保守を行うことです。各総合通信局や総務省内の関係部署、事業者と議論しながら、よりよい電波環境を維持できるシステム構築を行っています。

🔊) 総務省で働く魅力

情報通信技術を活用し、よりよい社会を実現する政策に取り組みたいという思いから総務省を志望しました。総務省ではICTの利活用や国際競争力の強化、電気通信事業の競争促進、電波の有効利用の推進など、多くのことに取り組んでおり、若いうちから様々な分野の政策に携わることが出来ます。私は入省3年目に、情報通信分野の国際標準化を行っている国際電気通信連合（ITU）の国際会議に出席する機会を頂きました。日本代表として出席することはプレッシャーも大きく事前準備に苦労しましたが、振り返ると、大きく成長できたと感じています。

ぜひ、いろいろな事にチャレンジしたいと思っている人は、総務省を志望してみてください。そこには、やりがいのある仕事と魅力ある仲間が待っています。

Private Time

週末は、登山をしたり海に行ったりと全力で遊んでいます。平日忙しくても、休日は体を動かすことでスッキリし、また一週間がんばろうと思えます！写真は、職場の仲間とスノーボードにいった時の写真です。



とある
一週間

● 月曜日

定例の室内ミーティングに出席し、今週一週間の業務内容を共有。

● 火曜日

システムに新機能を追加することを検討するため、各総合通信局と意見交換。

● 水曜日

新機能を追加することの可否やシステムの詳細設計について、事業者と打ち合わせ。

● 木曜日

システムの調達を行うため仕様書や資料の作成。

● 金曜日

残業せずに早々に退庁。友人と飲み会です。一週間お疲れ様でした。

先輩の一日

ある国際会議の一日

情報流通行政局郵政行政部
郵便課国際企画室国際企画係

小嶋 麻友

平成27年入省

■ PROFILE Kojima Mayu

平成27年 4月 総務省採用
現職

9:00AM

会議開始

会議が始まりました。日本代表団の一員として、日本の考えと異なる決定がなされないか、議論を注意深く追っていきます。



12:00PM

『お昼休み』

お昼休みは各国からの参加者とのつながりを作る絶好のチャンスです。初対面の人にも積極的に話しかけていきます。



前日 13:30PM

『GCC諸国との会合』

会議の合間を縫って、今日はカタール・サウジアラビア・アラブ首長国連邦と会合を持ちました。私は「日本の郵便サービスの歴史」について発表。



15:00PM

人事・財政委員会

午後は連合の人事・財政について議論が白熱。各国譲らず、なかなか結論が出ませんが、日本の意見が通りました。郵便の世界では日本の存在感はかなり大きいのです。



23:00PM

明日にむけて

今日一日の記録を日本に書き送って就寝。会議は明日も続きます。



ひとことメッセージ

国際企画室は、万国郵便連合（UPU）という、郵便に関する問題を扱う国連の専門機関を担当しています。年に2回、それぞれ3週間にわたって、スイスの首都・ベルンで開催されるUPU理事会の会合には、192の加盟国のうち約100カ国、計1000人弱が参加し、連日白熱した議論を交わします。私も、この理事会をはじめとする各種会合において、他国からの参加者と調整を行ったり、日本として発言したりします。また、国際企画室では、UPU関係のほかにも通商交渉や郵便インフラの国際展開も扱っています。

18:30PM

日本招宴

会議の後は、参加国を招いての日本主催の立食会。会場設備や食事が事前の打ち合わせ通りに手配されているか、直前まで確認が欠かせません。



06

行政管理局

PROFILE

Yosuke Hashiba

平成15年 4月 総務省採用
中国四国管区行政評価局
平成16年 4月 行政管理局企画調整課
平成19年 4月 行政評価局評価監視官付
平成22年 4月 大臣官房秘書課主査
平成23年 4月 行政管理局行政情報システム企画課総務係長
平成24年 4月 行政管理局企画調整課予算係長
平成25年 4月 行政管理局準司法手続等専門官
平成27年 7月 現職

行政管理局主査
葉柴 洋祐
平成15年入省

国民の
権利利益の
救済

行政不服審査会



とある
一週間

● 月曜日

改正行政不服審査法の運用
に向け、近隣団体と意見交
換

● 火曜日

改正行政不服審査法説明会
の資料作成

● 水曜日

改正行政不服審査法説明会
のため、地方公共団体へ講
師として出張

● 木曜日

新たに総務省に設けられる
「行政不服審査会」の運用
準備の検討

● 金曜日

改正行政不服審査法の特例
を設ける他法律の審査

🔊) 違法・不当な処分からの救済

行政管理局行政手続室は、「行政手続法」と「行政不服審査法」とを所管しています。

行政機関が行う、例えば許認可等の処分について、前者は処分をする前にしなければならない手続などを定めた法律、後者は処分がされ、その処分に不満がある場合に、処分の取消しなどを求める申立てを可能とし、その審査手続を定めた法律です。

両法は、平成26年に改正が行われましたが、特に後者の「行政不服審査法」は、約50年振りの抜本的なものとなりました。

「行政不服審査法」は、国の行政機関だけでなく、地方公共団体が行う処分についても適用され、平成28年4月1日から施行されており、その適切な運用のため、国民や全国の地方公共団体を含めた行政機関への説明、相談、周知等の業務を行っています。

行政機関の処分に対する権利利益の救済と適正な行政運営の確保とを目的とする仕事であり、きめ細やかな対応が必要だと強く考えております。

🔊) 法律を所管すること、その醍醐味

私は平成25年4月から行政管理局行政手続室で、「行政不服審査法」の改正業務に携わりました。法改正は初めて携わる業務でした。

考えてもみてください。当室で検討した法律案が、国会で審議され、成立・施行されると、全国国民、国・地方公共団体の行政機関が、それを基に新しい制度を活用、運用するのです。大変なことだと思いませんか。そう思うと、ただ恐ろしいとはじめに感じたことを覚えています。

関係機関との協議、内閣法制局の審査など、忙しい時期が続くこともありましたが、でも、国会で法案が成立した時の感覚は、これまで感じたことのないものでした。

「行政不服審査法」は、違法・不当な処分により、侵害された権利利益の救済を目的とするものです。この法律をよりよいものにすることは公務員の1つの本懐ではないでしょうか。

なお、興味を持たれた方、「行政不服審査法」には5年後に見直しを検討する規定もあります。是非にいかがでしょう。



Private Time

インドア派なので、休日は主に屋内で過ごしています。家ではテレビを観る、音楽を聴く、弾くなどして過ごすことが多いです。また、お酒を飲みに行ったり、歌いに行ったりしながら過ごしています。一番は、お酒片手の欧州フットボール観戦がたまりません。時差がつかいところですが。

華やかなプレーと
厳しい練習

行政評価局総務課企画官

佐々木 淳

昭和60年入省

■ PROFILE Jun Sasaki

昭和60年 4月 総務庁採用
東北管区行政監察局

平成13年 7月 行政管理局主査

平成15年 4月 行政評価局評価監視調査官

平成18年 7月 行政管理局副管理官

平成22年 1月 行政評価局評価監視調査官

平成23年 1月 行政管理局副管理官

平成23年 8月 行政評価局総括評価監視調査官

平成24年 8月 行政評価局調査官

平成26年 4月 行政評価局総務課評価監視企画官

平成26年 5月 現職



● 月曜日

A 調査の結果報告書等の論理矛盾について、担当班長を指導

● 火曜日

C 調査の取りまとめ方法について、担当班長にアドバイス

● 水曜日

D 調査の調査設計について、担当班長にアドバイス

● 木曜日

A 調査の結果報告書等の論理矛盾について、再度、担当班長を指導

● 金曜日

行政評価局調査のあり方検討会に出席

🔊) 裏方の仕事です

行政評価局調査は、分野別の評価監視官室がそれぞれ担当します。各室は、管区行政評価局・事務所を動員して調査を行い、行政の現場における課題や問題点を実証的に分析し、関係府省に改善方を勧告します。こうして、国民目線での行政運営の改善が実現します。勧告の際には、「〇〇〇について改善勧告 総務省行政評価局」と報道もされます。各室は、言わばスタジアムの華やかなプレーヤーです。

私の仲間は5人（女性4人、男性1人）です。この少数精鋭の仲間は、裏方として目立ちませんが、プレーヤーのために重要な仕事をテキパキとこなします。私の仕事は、嫌われても陰口を叩かれても、プレーヤーにアドバイスや指導などを行うことです。

私は、プレーヤーの華やかな活躍が大好きです。このため裏方として耐え忍んでいます。

🔊) マニュアル人間はいらない！

行政評価局調査では、本省の調査指示を受けて、全国の管区行政評価局・行政評価事務所の調査のプロが、行政の現場に出向き、国民が困っている課題や問題点を明らかにします。この実地調査結果があるからこそ改善方を提示することが可能となります。確固たる信念を持っている人に、第三者の意見を聞き入れてもらうためには、しっかりとした根拠が必要なのと同様です。

人に意見する立場の者は、相手を敬い、自分を律することが必要です。また、行政の現場における調査では、臨機応変に対応し、相手から話を上手に聞きだし、時に厳しい交渉により根拠データ等を入手することが必要です。このような調査技法は、マニュアルだけでは身に付きません。これまで勉強ができていてもできなくても、自ら考え行動する能力やコミュニケーション能力がなければ、調査のプロにはなれません。スタジアムで華やかなプレーをするためには、厳しい練習が必要です。あなたはこの練習に参加したいですか。



Private Time

土日は、本来の自分に戻ります。ロードバイク、ランニング、ウェイトトレーニング、そして殺傷技術を体系化した武術としての空手道です。したがって、日曜日の夕方はヘロヘロです。

PROFILE

Oyagi Satoshi

平成19年10月 総務省採用
統計局統計調査部経済基本構造統計課指導係
併任 統計局統計調査部経済基本構造統計課
情報管理係

平成21年10月 大臣官房政策評価広報課広報室

平成23年10月 統計局統計調査部消費統計課物価統計室
小売物価調査係

平成24年 4月 統計局統計調査部消費統計課物価統計室
企画指導第一係

平成26年 1月 統計局統計調査部国勢統計課審査発表係

平成26年 7月 統計局統計調査部国勢統計課指導係

平成26年10月 現職

統計局統計調査部
国勢統計課統計専門職

大八木 聡

平成19年入省

私たちの
生活を支える
統計の底力

🔊 日本の「今」を描く統計

皆さんは、「国勢調査」をご存知ですか？国勢調査とは、5年に1度、総務省統計局が日本全国に住んでいるすべての人と世帯を対象に実施する国の最も重要な統計調査で、直近では平成27年10月に実施されました。調査から得られる様々な情報は、国や地方公共団体を始め、民間企業や研究機関において幅広く利用されるだけでなく、平成28年2月に公表された速報結果では日本の人口が1億2711万人と、大正9年の調査開始以来、初めての人口減少になるなど、日本の「今」の姿を明らかにする一躍も担っています。

統計データを得るためには、必ず「調査」を実施する必要があります。私は、その調査の企画・立案や、全国47都道府県との調整事務に携わり、現在は次回の国勢調査に向けて調査員や地方公共団体の意見の取りまとめ、評価を行っています。より精度の高い統計データを得るための「調査」を探求する毎日です。

🔊 統計を縁の下から大舞台へ

国や地方公共団体などが施策を講じる際に、その基盤となるのが統計データです。例えば、子育て世代が多い地域に、率先して高齢者向けの施策を講ずるより、まずは子育て世代向けの施策を優先する方が効果的です。では、どの地域に子育て世代向けの施策を講ずべきか、その判断の道しるべとなるのが統計データです。すなわち、統計データなくして、効果的な施策の企画・立案は困難といえます。

統計は「縁の下の力持ち」などと呼ばれることがありますが、近年、「ビッグデータ」や「統計学」といった言葉を新聞やネットニュースで目にする機会が増えており、統計への関心の高まりを感じています。今後、更なる注目の中で、統計の重要性を多くの方々を知っていただき、より身近に感じていただく、これが私たちの生活に有意義な影響を与えることと確信しています。統計を、縁の下から大舞台へ。それを成せるのが総務省統計局です。皆さんも一緒に働いてみませんか？



Private Time

趣味はアコースティックギター。だったはずですが、最近では娘と一緒に遊ぶことが一番の趣味になっています。仕事でどんなに疲れて帰っても、娘の寝顔を見るだけで、明日も仕事頑張るぞ！という気持ちになります。本当に宝物です。



● 月曜日

都道府県職員からの照会対応。各種提出書類の確認を実施。

● 火曜日

統計局主催の会議資料の整理・取りまとめを実施。

● 水曜日

会議資料の印刷、会場設定。場合によっては夜中まで準備します。

● 木曜日

会議一日目。都道府県職員等に対し調査結果を説明。夜は懇親会へ。

● 金曜日

会議二日目。調査結果の活用方法を説明。夜は同僚と打ち上げです。

確かなエビデンスで 政策を支える

統計局統計調査部
経済統計課統計情報官

衛藤 美和

平成20年入省

PROFILE Eto Miwa

平成20年 4月 総務省採用
人事・恩給局任用第一係
平成22年 4月 人事・恩給局労働係
併任 人事・恩給局国際係
平成24年 4月 人事・恩給局給与第二係
平成25年 8月 人事院行政官長期在外研究員
(レスター大学)
平成26年 9月 人事院行政官長期在外研究員
(ロンドン・スクール・オブ・
エコノミクス)
平成27年 8月 現職



とある 一週間

月曜日

金曜日に開催する研究会に向け、前週作成した資料を基に打合せ。

火曜日

改定された国際基準から、当調査の関連記述を抜粋し、旧版との違いを上司に説明。

水曜日

科学技術週間に公表する統計分析のテーマを絞り、図表を作成。

木曜日

調査項目の見直しに先立ち、調査対象の企業や大学を訪問し、ヒアリングを実施。

金曜日

研究会当日。メモを取り、委員や各府省担当者の発言内容を素早くまとめる。

科学技術の“今”を捉える

科学技術研究調査は、研究費や研究者の人数等、我が国における研究活動の実態を調査し、科学技術振興の政策基盤となる統計データを提供することを目的として毎年実施されています。

次代のイノベーションに繋がる研究開発の現状を正しく捉えるには、統計調査の根本たる調査票を適切に設計しなければなりません。現在、私は、通常の調査と並行して、数年に一度行われる調査項目の見直しに取り組んでいます。平成27年10月、OECDが策定する研究開発統計の国際基準が13年ぶりに改定されたことを受け、この見直しを通じて、いかにして新基準とこの調査との整合性を図るかについても検討しています。

このように、研究開発を巡る環境や政策ニーズの変化を踏まえて調査項目を修正していくことが必要である一方、統計局は、調査対象者の回答負担の軽減や統計ユーザーにとっての利便性を追求する役割も担っており、関係者間での高い調整力を発揮することが求められます。

英国大学院留学を終えて

私は、入省以来約5年間、国家公務員制度改革に携わってきました。能力及び実績に基づく人事管理の導入や労働基本権の見直し等、一筋縄ではいかない調整や法令の新規制定を経験した後、英国で2年間の大学院留学の機会を得ました。留学中は、行政組織のマネジメント理論を学びましたが、研究を進めるうちに、帰国後に携わることになる統計の重要性も強く認識しました。すなわち、政策の立案から執行、評価までのすべての過程において、根拠あるデータを示すことにより、より納得が得られる議論を展開できるということに気づいたのです。

修士論文の調査に行き詰まっていたとき、指導教授から、本当にやりたいと思ったことは、決して諦めてはいけなとアドバイスされました。高度な英語環境に試行錯誤しながらも、卒業できたという経験から、物事の短期的な成否にとらわれず、長期的に見れば乗り越えられるという信念を持って継続することの大切さを学びました。



Private Time

留学を通じて出会った友人達と連絡を取り合い、近況報告をしあっています。また、帰国後も、語学力向上や英国内政の把握のため、英国関連のニュースのチェックは欠かせません。今後は、大好きな現代アート鑑賞も再開させたいと思っています。

統計調査の 合理性・妥当性について 審査をしています。

PROFILE Yamashita Hiroyuki

平成15年 4月	総務省採用 統計局統計調査部消費統計課 物価統計室物価指数第二係
平成17年10月	大臣官房管理室総務担当主査付 併任 大臣官房管理室公益法人行政推進室
平成19年10月	内閣府経済社会総合研究所 国民経済計算部国民支出課
平成21年 7月	独立行政法人統計センター総務部 経営企画室調査係 併任 独立行政法人統計センター 総務部経営企画室総括係
平成22年 4月	独立行政法人統計センター総務部 経営企画室専門職（総括担当） 併任 独立行政法人統計センター 総務部経営企画室専門職（調査担当）
平成23年 4月	独立行政法人統計センター製表部 管理企画課上級製表職（評価担当）
平成23年 7月	独立行政法人統計センター製表部 管理企画課係長（評価担当）
平成25年 4月	人事・恩給局人事政策課企画第一係長 併任 人事・恩給局人事政策課調整第一係
平成26年 5月	内閣官房内閣人事局 （ハラスメント防止専門職）
平成27年 5月	現職

政策統括官（統計基準担当）付
統計審査官付統計利用専門官

山下 博礼

平成15年入省



とある一週間

月曜日

今日は朝から統計委員会の部会で、学校基本調査の変更についての審議を行いました。大雪のため出席者の到着が遅れハラハラしましたが、なんとか開催できました。議事も順調に進み、ホッと一息。

火曜日

木曜日の統計委員会に向けて、昨日の会議の審議結果の取りまとめと、出席者からの質問対応、資料の作成で1日が過ぎました。

水曜日

昨日に引き続き、統計委員会資料の作成です。作成した資料の最終確認が終わったら、会場に資料を持ち込みます。

木曜日

今日は朝イチで統計委員会です。現在審査を担当している学校基本調査について、月曜日の部会の結果や審査状況について、中間報告を行いました。

金曜日

昨日の統計委員会で仕事もひと区切り、今日は久々に定時退庁です。子どもたちには残業続きで寂しい思いをさせたので、週末はいっぱい遊んであげないと！

「統計審査」とは？

私は現在、「統計審査」という業務に携わっています。

現在の日本では、各府省が個別に統計調査を実施していますが、調査によっては、他の調査と内容が重複していたり、調査内容が合理性・妥当性を欠いていたりとする場合があるかもしれません。また、統計調査は多くの国民に負担をかけて報告を求めるものですから、調査の目的に対して、質問事項が過剰であったり、分かりにくかったりしてはいけません。このようなことが起こらないよう、統計法では、各府省に、統計調査を実施する場合、あらかじめ総務大臣に調査計画の承認を得ることを求めています。

私たち統計審査官室では、この統計法の規定に基づき、各府省から提出された調査計画について、調査の目的が適切か、他調査との重複がないか、調査の対象となる国民や事業所などの負担が過剰なものとなっていないかなどについて、審査を行っています。

総務省に入省して

私が総務省に入省して10年以上が経ちましたが、これまで、消費者物価指数やGDPの作成等の統計業務、公益法人行政関連業務、独立行政法人の経営・企画、国家公務員の制度改革や福利厚生に関する業務等、多様な業務を経験してきました。他府省や独立行政法人等、総務省以外への出向もありましたし、総務省内であっても、以前の職場とは全く異なる業務に携わることもあり、一から勉強をしなければならぬことも数多くありました。しかし、これは言い換えれば、それだけ多くの経験を積みさせてもらっているということでもありますし、また、このように多様な業務に携われるということは、総務省の魅力でもあると思います。私もまだまだ未経験の業務がたくさんありますので、これからも新たな業務と出会うことがあると思いますが、これまでの経験を生かして、新たに入省される皆さんとともに、良い仕事をしていきたいと思っています。



Private Time

土日は、だいたい二人の子どもとべったりです。

晴れの日是一緒に外で遊びます。近所に公園がたくさんあるので、時間のある日は、公園をハンゴして遊びます。二人とも外で遊ぶことが大好きなので、外に出ると毎回大はしゃぎです。雨の日や夜は、一緒にお絵かきやトランプ、ブロック遊びなどをして遊びます。パパに寄ってくるのも今だけだと思うので、今のうちでできるだけいっぱい遊んであげたいと思っています。

また、たまに保育園のパパ友と一緒に、マラソン大会や駅伝大会に出たりもしています。

先輩の一日

調査がある日の一日

行政評価局評価監視官
(内閣、総務、規制改革等担当) 室

山崎 茜

平成24年入省

■ PROFILE Akane Yamazaki

平成24年 4月 総務省採用

中部管区行政評価局

平成25年 4月 統計局統計調査部国勢統計課審査発表係

平成27年 4月 現職

10:30AM

打合せ

関係府省に調査に向かう前に、どのような流れで調査を進めるか最後に打合せをします。効率的な調査をするために、事前に把握した制度や予想される問題点を議論します。



12:00PM

ランチ

待ちに待ったランチ！今日は同期と銀座でイタリアンです。美味しいパスタとおしゃべりを楽しみながら、調査へ向けて英気を養います。



9:30AM

情報収集

行政評価局では国の行政の問題点を調査し、各府省に改善を促しています。そのため、日々の情報収集が欠かせません。今日は、現在担当している調査に関する記事がないか新聞をチェックします。



13:30PM

調査

準備した資料をもって、いざ調査へ。若手職員も質問をします。緊張しますが、楽しさとやりがいを感じる瞬間でもあります。



19:30PM

アフター6

以前の職場（統計局）の方との飲み会。国勢調査を担当していたのですが、結果公表の打上げに呼んでもらいました。採用部局に限らず幅広い仕事に携われるのも総務省の魅力です。



16:30PM

結果のとりまとめ

調査が終わったら、資料を整理して結果をまとめます。調査によっては半日近くかかることもあります。期間中は毎日多くの関係機関に調査に行くため、時間をかけずに簡潔にまとめることが重要です。



ひとことメッセージ

幅広く国の行政の問題点を調査し、改善を促す行政評価・監視。好奇心旺盛な自分にぴったりだと思い入省を決めました。その期待どおり、海岸漂着物、世界文化遺産などの多様なテーマに携わってきました。専門知識や制度の勉強は大変ですが、実は「この制度っておかしくない？」という一般的な感覚が、調査を進める上で一番の武器になります。あなたの好奇心と世の中への疑問をぜひ行政評価局で生かしませんか？

11

自治行政局

地方の元気を 引き出す 力になろう！

PROFILE Hagiwara Yoshitomo

平成13年	4月	総務省採用 消防庁総務課
平成14年	4月	自治税務局固定資産税課
平成15年	4月	奈良県総務部市町村課
平成16年	10月	公営企業金融公庫融資部 融資第一課 兼 第二課
平成18年	9月	自治行政局行政課総務室
平成19年	4月	自治行政局行政課総務室総務係長
平成20年	4月	自治行政局行政課行政第四係長
平成22年	4月	自治行政局行政課行政第三係長
平成24年	4月	鶴ヶ島市総合政策部長
平成27年	4月	現職

自治行政局
地域自立応援課企画係長

萩原 良智

平成13年入省



とある
一週間

月曜日

地域力創造アドバイザーから各種相談を受けます。

火曜日

政府全体で進めている戦略の会議に出席します。

水曜日

当課業務を請け負うコンサルタントとの打ち合わせに出席します。

木曜日

地域活性化関係団体が主催するイベントに出席します。

金曜日

研究会開催のために関係者に説明に伺います。

「東京一極集中」の是正を目指して

皆さんの故郷の現状はいかがですか？U・Iターン希望者が魅力を感じる「しごと」はありますか？「ひと」の流れは頻繁で若い世代の転入はありますか？「まち」の生活機能等は十分に確保されていますか？

「地方創生」の実現には、地域の「稼ぐ力」を引き出し生産性の高い雇用を創出すること、地方へのひとの流れをつくる必要があります。そして、これらの受け皿（生活圏である「まち」）を整えることも必要です。

私の職場では、都市地域から過疎地域等に住民票を移動し「地域協力活動」を行いながら定住・定着を図る「地域おこし協力隊」や、三大都市圏の大企業の社員が地方圏へのひとの流れを創出する業務に従事する「地域おこし企業人」等を推進しています。

また、都市機能の集積した中心市と近隣市町村との間で生活機能等の「集約とネットワーク化」を進めることで、地方圏における定住の受け皿を形成する「定住自立圏構想」を推進しています。

地方勤務（現場）の経験をいかす

総務省では地方勤務を経験し、現場を体験できるのが強みです。また、そこで知り合った方々との出会いは、何事にも代えがたい財産となります。

奈良県では市町村財政を支援する業務に従事しました。職員の方々が、市町村の課題に丁寧に対応する姿勢に多くを学びました。鶴ヶ島市では、企画財政を担当する幅広い分野に係る業務に従事しました。議会対応はもちろん、住民の方々に直接政策を説明する機会にも恵まれました。住民のためにどのような判断がベストかを職員と議論するほか、自治会等に加入・参画することや、地域企業の方々から意見を伺いながら政策を立案しました。住民や企業等の積極的な参画を得て実施する施策の効果は非常に高く、関係者間でその成果を共有し、喜びを分かち合う時の達成感は大きく、深く印象に残っています。

総務省には、これらの経験をいかす業務のフィールドがあります。皆さんも、地方の元気を引き出すために共に力を尽くしませんか。



Private Time

平日はデスクワークが中心ですから、週末はできるだけ外出するように心がけています。家族とスポーツやショッピングでストレスを発散しています。また、同僚や地方勤務時代の友人とゴルフを楽しむことや、仕事の情報交換もしながら交流しています。ふるさとイベントなどに一緒に出展するのも楽しみの一つです。

時代に即した
選挙制度を
目指して

PROFILE

Arai Yoko

平成21年10月	総務省採用 自治行政局行政課総務室
平成22年1月	自治行政局選挙部政治資金課収支公開室
平成23年10月	福岡県企画・地域振興部市町村支援課
平成25年10月	地方公務員災害補償基金補償課
平成27年4月	自治行政局選挙部選挙課
10月	現職

自治行政局選挙部
選挙課主査

荒居 陽子

平成21年入省

とある
一週間

月曜日

今週末開催の選挙関係の審議会に向け、使用する資料の原案を作成します。

火曜日

国会での質問への対応発生。必要な資料を、正確かつ迅速に準備します。

水曜日

議員事務所からの電話説明要求。慎重に調べて対応します。

木曜日

翌日開催の審議会で出席者に配布する資料セットを準備します。

金曜日

いよいよ審議会の開催日。滞りなく進み、ひとまず安心。

70年ぶりの選挙権年齢引き下げ！

選挙は、国民の皆さんが政治に参加するための重要なシステムです。

昨年、その選挙制度に大きな改正がありました。1つは、少子高齢化社会の日本の未来を担う10代に、もっと政治に参画してもらうため、選挙権年齢が18歳に引き下げられたこと。もう1つは、いわゆる「1票の較差」を縮めるため、参議院選挙区選挙の選挙区に、2県合同の選挙区（鳥取県と島根県、徳島県と高知県）ができたことです。どちらの改正も、日本の現状や将来予測を踏まえ、国民の皆さんの意思が、国政や地方政治に的確に反映されるためになされたものです。よりよい選挙制度改革は日本の未来につながることであり、ほんの少しでも、そのお手伝いができているのかな、と思っています。

また、新制度はもちろん、現行制度の説明・解釈を通じ選挙に携わる方々（全国の選挙管理委員会や議員・候補者サイド等）をバックアップすることも重要な仕事であり、責任と同時にやりがいを感じています。

様々なフィールドで、人とのつながりを大切に。

総務省では、本省勤務以外にも、様々な場所で仕事の機会が与えられます。特に、地方自治を考える上で、地方の現場を知ることとはとても大事なことです。総務省では若手のうちから地方自治体に出向し、地方の現場を勉強できます。私も、2年間、福岡県にお世話になりました。他にも、関係団体で公務災害認定業務に携わり、本省以外のフィールドで勤務経験し、視野も広がったように思います。

また、私が福岡県出向時に知り合った方々とは、今でも交流が続いています。一方、総務省にも全国の自治体から出向されている方々が多く、「地元を元気にしたい！」という気概を持った方々と一緒に仕事をするのは刺激になりますし、お酒を飲みながら地元トークに花を咲かせ、地方の現状に触れることもできます。このように、単に仕事をするだけでなく、全国規模で人とつながりを持つことは、総務省だからこそ得られる財産です。

あなたも、総務省と一緒に働きませんか？



Private Time

休日は、大好きな野球観戦に行ったり、演劇を鑑賞したり、一眼レフカメラを携えて素敵な風景を探しに行き、写真に収めたりと、趣味の時間を大事にしています。先日は、初めて大相撲観戦に行き、テレビで見る以上の迫力に感激！週末に好きなことをしてしっかりリフレッシュすることで、また次の1週間もがんばろう！と思えます。

13

自治
財政局

地方財政の使命

自治財政局
調整課企画係長
富澤 尚史
平成 19年入省

■ PROFILE Tomizawa Naofumi

平成19年	4月	総務省採用 大臣官房秘書課
平成20年	4月	自治税務局固定資産税課資産評価室
平成21年	4月	鹿児島県総務部市町村課
平成23年	4月	自治財政局財政課
平成25年	4月	自治財政局財政課総務室総務係長
平成27年	4月	現職

🔊) 政策調整の最前線

社会保障や社会資本整備など生活と関連する行政の多くを、地方自治体が担っています。その役割に見合った財源を確保すること。そして、日本中どこに住んでいても一定水準の行政サービスが受けられるように担保すること。それが自治財政局の使命のひとつです。

その中でも調整課は、国が行う政策に対し地方の立場から意見を述べ、国・地方の役割分担や財政負担の割合などを調整する部署です。職員一人ひとりが、担当する府省の制度・施策について幅広く理解した上で、各府省と熱い議論を交わし、知恵を出し合い、より良い政策を作り上げていくために日々奮闘しています。例えば私は、地方創生のための交付金、整備新幹線の建設、羽田空港の騒音対策などの調整に当たっています。

社会から注目されるようなホットな課題を抱え、国民生活に近いところで仕事をしていることを実感できる職場でもあり、刺激的な毎日を過ごしています。

🔊) 熱意に応える職場

東日本大震災から5年が経ちました。発災当日、私は鹿児島県に出向中。その翌月に総務省へ戻り、まずは一刻も早い被災地への財政支援が求められました。混乱した状況の中では被災地の具体の財政需要を把握することが難しく、混迷を極めました。無事に資金が行き渡った時、安堵したことは今でも印象深いです。その後も、復興のための財源確保やそのための地方公務員給与引下げのお願いなど、日々復興のために奮闘できたことは、私にとって宝となっています。このような困難な課題を乗り越えられたのも、相談しやすい上司や同僚に恵まれているからだと思います。

また、人口減少、地方衰退が課題とされる中、地方の現場感覚をいかに国の政策に吹き込むかが重要です。総務省では、人事交流による地方自治体での勤務を通じて、それを学ぶことができます。地方自治への熱い想いをを持った皆さんを飽きさせることは決してない職場であると考えています。

Private Time

仕事の区切りがついた日は、帰りに同僚と飲みに行ったりリフレッシュ。最近は、気軽に寄れる“立ち飲み”にはまっています。休日は休養するだけでなく、体力維持のため適度に体を動かすことを心がけています。プールで泳いだり、妻と東京近郊の山へトレッキングにでかけたりしています。両国国技館での相撲観戦も好きです。



● 月曜日

新幹線建設の財政措置について、上司とともに国会議員へ説明。

● 火曜日

与党の会議に上司が出席。不測の事態に備え資料を持って随行します。

● 水曜日

翌日の国会質問の準備。地方創生への支援に関するものです。

● 木曜日

財政支援について地方からの要望を受付。現場の生の声を聞くことは大事です。

● 金曜日

担当業務の進捗状況を上司に説明。ストーリー性のある説明を心がけます。

14

自治
税務
局ふるさとを
思いながら

■ PROFILE Kimura Tomoya

平成23年	4月	総務省採用 大臣官房秘書課
平成24年	4月	自治行政局地域自立応援課地域振興室
平成25年	4月	熊本県総務部市町村・ 税務局市町村財政課
平成27年	4月	現職

自治税務局企画課

木村 友哉

平成23年入省

とある
一週間

● 月曜日

局内の週間日程を確認。上司と仕事の進め方を相談します。

● 火曜日

担当の税目について、地方自治体からの問い合わせに対応します。

● 水曜日

国会議員事務所の問い合わせに対応します。

● 木曜日

担当業務の懸案事項を検討。制度には歴史があるため過去の整理も確認します。

● 金曜日

検討内容を整理した資料を作成。上司からの指摘を踏まえ修正を加えます。

🔊 自治税務局の仕事

税金には国税と地方税があることをご存じでしょうか。自治税務局では、住民税や自動車税などの都道府県、市町村が徴収する地方税の企画・立案を行っています。地方税は自治体が教育、福祉、消防などの行政サービスを提供するために欠かせない財源ですが、課税については国民の生活と密接に関連するため、様々な角度から検討し、各方面と意見調整が必要です。具体的には年末にかけて行われる税制改正の議論を通して法律が改正されていくのですが、私の所属する企画課はそのとりまとめ役となり、資料の調整や会議の段取りなどを行います。改正の過程では国民生活、経済、自治体の税収に与える影響など幅広い視点から白熱した議論が繰り広げられ、その模様はテレビや新聞でも取り上げられます。制度が作られていくプロセスを間近に見て、自分が携わる仕事に責任の重さを感じますが、重要な決定の場に立ち合えることに大きなやりがいも感じています。

🔊 国と地方での経験

地元を元気にしたいという漠然とした理由から総務省に入省して約5年が経ちました。5年の間に予算要求の事務、地域づくりを頑張っている団体の表彰事務や、熊本県に向向した際は市町村が財源確保のために発行する地方債のチェックや決算分析などを通して、総務省にいただけでは分からなかった市町村の実情やそこに住む人たちの思いを知り、自分の仕事が地方公共団体に与える影響を常に意識するようになりました。当時一緒に働いた先輩や同僚は、今でも仕事の相談をしたり、遊びに行ったり、公私ともに支えになってくれる大切な存在です。日々勉強することはとても多いですが、右も左もわからなかった頃に比べると、少しずつですが、自分自身の成長も実感しています。地方を思い、様々な地域の職員と広いフィールドの中で仕事ができるのは総務省の大きな魅力だと思います。国と地方の業務に興味がある方は、是非一度職員の話聞きに来てみませんか？



Private Time

休みの日は友達と飲みにいたり、旅行にいたり、なるべく外に出るようにしています。また、総務省で一緒に仕事をした自治体職員が地元へ遊びに行ったり、逆に東京へ遊びに来てくださったり、改めて人とのつながりの大切さを実感しています。

15

消防庁

全国に交流を
広げられる場所

PROFILE Sakai Shinichiro

平成18年 4月 総務省採用
自治財政局公営企業課
平成19年10月 福岡県総務部地方課
平成20年 4月 福岡県企画・地域振興部市町村支援課
平成21年10月 地方公共団体金融機構資金部資金課
平成23年 4月 自治体国際化協会総務部総務課
平成24年 4月 自治体国際化協会総務部総務課主査
平成25年 4月 自治体国際化協会
ニューヨーク事務所所長補佐
平成27年 4月 現職

消防庁国民保護・防災部防災課
応急対策室応急対策第一係長

酒井 晋一郎

平成18年入省

とある
一週間

月曜日

発達した低気圧の影響で、都心部でも朝から大雪。被害情報の収集に当たります。

火曜日

災害対応を行う場所である危機管理センターの改修のため、庁内関係者と打ち合わせ。より利用しやすいレイアウトを検討します。

水曜日

毎月1回程度の宿直勤務。特段の災害もなく翌朝を迎えられるとほっとします。

木曜日

夜は消防庁内の同僚たちと皇居ラン。仕事と運動の後のビールが染み渡ります。

金曜日

週末に大雪との情報を受け、関係者を集めてミーティング。初動対応の確認をして災害の発生に備えます。

自然災害と対峙する職場

我が国では4つのプレート活動の影響を受けて毎年多くの地震が発生しており、活火山も集中しています。さらに、中緯度帯に位置しているために台風や温帯低気圧の被害を受けやすく、自然災害とは常に隣り合わせです。

私が所属する消防庁応急対策室では、地震・津波や火山噴火、風水害といった自然災害が発生した際に、災害対策本部を立ち上げて被災地の状況を迅速に把握し、その情報を各省庁間で共有する、災害への応急対応を行っています。平成27年9月関東・東北豪雨といった大きな災害の際には、現地の被災状況や、これから何が必要になるのか、といったことに考えを巡らせながらの緊張した対応が必要になります。

また、実際の災害への対応を通じて得た反省や教訓を踏まえ、応急体制を常に見直し、検証を行っていくことも重要なミッションです。起こりうる災害を想定し、体制を構築することは、災害対応を行ううえで大切なことです。

たくさんの経験と出会いを糧に

私は入省して本省勤務を経験して以降、様々な職場で勤務してきました。福岡県庁では市町村行政に携わり、地方公共団体金融機構では海外の投資家からの資金調達、さらにニューヨークでは日本の自治体の海外活動支援を行ってきました。異動のたびに全く異なる分野の業務に変わったため、大変さを感じることもありましたが、それ以上に新しいことを経験でき、大きな刺激になりました。

また、全国の自治体から出向してくる職員の方たちとの出会いも魅力的なものです。私はいくつもの組織に所属してきたため、それぞれの職場で出向者の方たちと親交を深めることができました。同じ職場にいる間だけのわずかな時間ですが、彼らとともに仕事ができただけは、私にとって今でも貴重な財産となっています。

様々な経験ができ、全国の自治体職員の方と交流できるのは総務省の大きな魅力だと思います。ぜひ一度、総務省の門を叩いてみませんか？



Private Time

趣味でキックボクシングを続けています。ニューヨーク赴任中に通っていたジムでは、ジム内のスパーリング大会にも出場しました。トレーニング中は無心になれるので、いい気分転換になります。また、ジョギングをしたり、旅行に行ったりと、外に出て過ごすことが多いです。

先輩の一日

大公開! 若手職員の日々

自治行政局公務員部福利課

田川 陽子

平成26年入省

■ PROFILE Tagawa Yoko

平成26年 4月 総務省採用
大臣官房秘書課
平成27年 4月 現職

11:30AM

課長へのご説明

共済組合の来年度の事業運営に関わる認可申請がたくさん来ます。課長への説明は少し緊張しますが、無事に了解を得て、認可を行う時には達成感を感じられます。



12:00PM

ランチ

おいしいご飯を求め、他の省や銀座に出かけるなど私にとって何よりの気分転換の時間です。同僚や、同期などと楽しい時間を過ごします。



9:00AM

都道府県からの問い合わせ

都道府県の担当者の方から、地方公務員の共済組合に関する様々な内容の問い合わせが電話やメールで寄せられます。過去の資料や文献をあたり、出来るだけ分かりやすい回答となるように気をつけています。



14:00PM

共済組合の方との打ち合わせ

要望や相談のために、共済組合の方が直接来省されることもあります。先方の話をしっかり聞くことが出来る絶好のチャンスですので、係長とともに、疑問点の解消などに努めます。



19:00PM

1日お疲れ様でした

課内には自治体から派遣されている職員の方など、バラエティー豊かな方々が集まっています。そのため、飲み会も次から次へと話題のあふれ出す楽しい時間に、1日の疲れもあっという間に忘れてしまいます。



ひとことメッセージ

徹底的に仕事をやり抜く姿勢、地方に寄り添う姿勢など、総務省には熱い気持ちを持った職員の方々がたくさんいらっしゃいます。私は何よりも熱い先輩方に惹かれて入省を決めました。入省して2年たった今、業務の中で壁に当たったときも、いつでもこうした上司の方々が助けてくれました。

総務省には、人とのつながりをとても大切に、国と地方の両方を背負う、温かく、刺激的な職員がたくさん待っています!

15:30PM

課内での検討

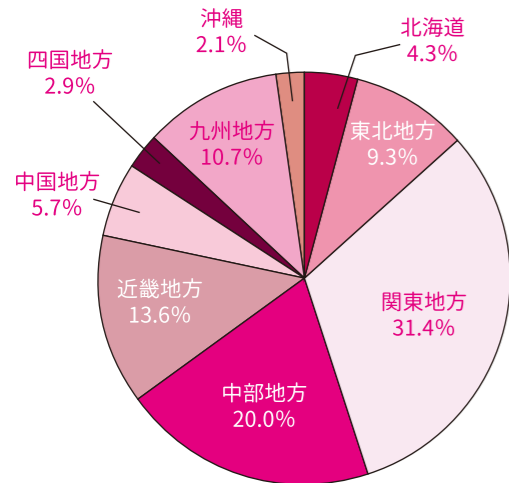
さきほど相談を受けた案件について、まずは係長とよく相談します。立場に関わらず意見交換ができる、非常に風通しのよい職場環境です。ここからは、問題解決に向けて課内がスピーディに動き出します。



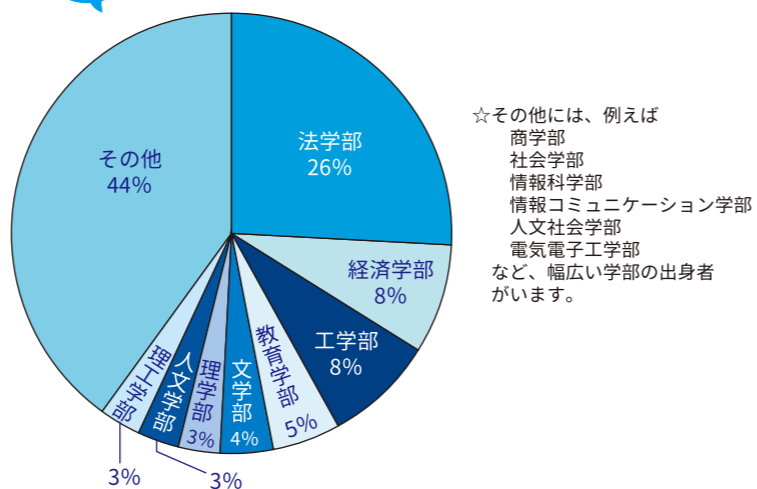


新規採用職員アンケート

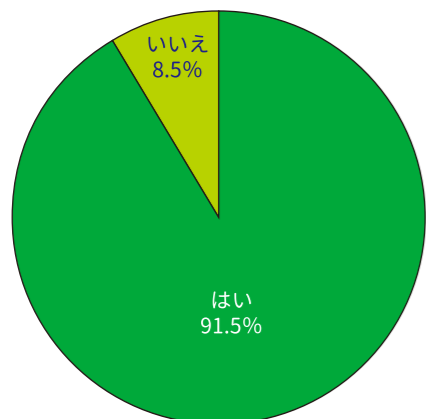
Q1 出身地はどこですか？



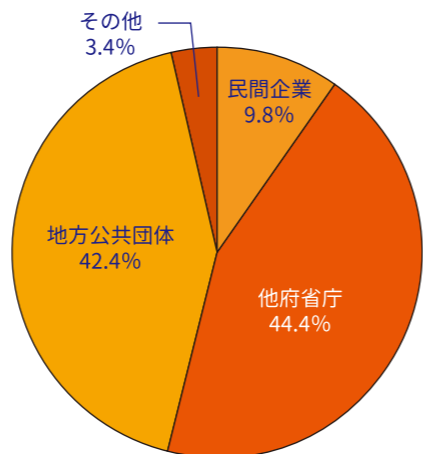
Q2 大学の出身学部を教えてください



Q3 就職先を選ぶ際、総務省以外の選択肢は考えましたか？



「はい」と答えた方



Q4 就職先を選ぶ際、重視したものは何ですか？

- 仕事に情熱を注げるかどうかです。
- 目的意識を持って仕事に取り組み続けられる環境であるか、という点です。
- やりたいこと、興味を持てる仕事ができるかどうかを考えました。
- 日々の暮らしや生活に密着したものが良いと思っていました。
- 自分がやりたいと思うものがそこにあるか、そして、そこで働く人の雰囲気です。
- 誰の役に立てる仕事か、誰のために働きたいか、ということを考えて選びました。
- どこ（場所・地域）で働くか、何をしたいか、どちらを優先するのか、どちらを取るのか。迷うところではあると思いますが、私は自分のしたいことを最も優先しました。
- 学んできた知識を生かすような仕事ができるかどうかです。
- ①人の役に立ること②自分の知らない世界であること③続けられることです。

Q6 総務省の魅力は何だと思いますか？

- 所掌業務の一つ一つが国民の暮らしと密接に関わっていることだと思います。
- 業務の幅が広く、ミクロ的なものからマクロ的なものまで行っており、興味のあるものが1個は必ずあるところです。
- チームの団結力だと思います。
- 「暮らしの中に総務省」というキャッチフレーズは、まさに総務省を言い表した言葉だと思います。何気ないところに関わっているものの陰ながら国民をサポートしていることが魅力だと思います。
- 同期が多いこと（色々な専攻の同期がいること）です。
- 国の機関でありながら、地方自治や現場の声と密接に関わる仕事ができることだと考えています。
- 日々進歩する業務に携わることができるので、新しいことにチャレンジすることができるのが魅力だと思います。

Q8 どのような総務省職員を目指しますか？

- 様々なことにアンテナを張り、柔軟に活躍できるような職員を目指します。
- 誇りを持って仕事に取り組むことのできる職員を目指します。
- 多くの知識を吸収し、あらゆる場面に対応できる職員を目指します。
- 初心を忘れず、国民目線で職務に励む職員でありたいと思います。
- 自分の得意な分野を積極的に伸ばせるようになりたいです。
- どんなことにもチャレンジして、何でもオールマイティにこなす職員になりたいです。
- 学び吸収する気持ちを持ち、目の前の業務に励みたいです。
- 仕事に対しても真剣に向き合う職員を目指します。

Q5 なぜ、総務省を選んだのですか？

- 業務説明会や官庁訪問で出会ったどの職員の方も仕事に対する熱い思いを語っていて、魅力的に感じたからです。
- 元々、地方の問題に関心があり、総務省の手がける業務がその解決に寄ることができると感じたからです。
- ICTに興味があり、公務員としてICTに携わることができる省庁だったからです。
- 自分の専門知識を生かせる場が多いと感じたからです。最終的に決め手となったのは職員の方々の人柄です。
- 学部や院、前職で関わってきた統計を使って仕事してみたかったからです。
- 幅広い政策に関わることができ、様々な知識を身につけ仕事に生かしていく働き方に魅力を感じたからです。
- 情報通信関係について大学でかじったこともあって、興味があったためです。また、東日本大震災時にラジオに救われたので、電波環境を守る仕事をしたいと思ったためです。

Q7 官庁訪問のアドバイスはありますか？

- 自分の中でゆるがない信念を持つことが大事だと思います。
- 元気さ、素直さ、明確な回答が必要です。
- 官庁訪問は「こちらから職員の様子を伺える場」です。気になることは何でも質問してみましょう！
- 疑問に思っていることを職員の方に素直に聞くことが大切だと思います。
- 面接は緊張すると思いますが、楽しんで臨むことが大事だと思います。元気よく話す、相手にもちゃんと伝わると思っています。第一印象も重要です。
- 進路で悩むのは当然。たくさん悩んで、調べて、選択してください。
- 文字だけを見ずに、実際に働いている方の生の声を聴いてみてください。はじめは興味なくても、やってみたいと思える仕事に巡りあえるかもしれません。私はそうでした。

Q9 最後に、総務省を目指す方へメッセージをお願いします。

- 総務省には、日本が直面する課題に対して解決策を講じるためのツールがたくさんあります。そして、それだけ様々な部署に配属される可能性にあふれています。ぜひ、より多くの職員と会って話を聞き、自分が総務省で働いている姿を具体的にイメージしてほしいと思います。
- 総務省で行っている一つ一つの施策は、一朝一夕で成り立つものではありません。実現に向けて根気強く解決策を模索し、力を尽くし続けることが大切です。ともに職員として、その実現に向けて走りましょう。
- 自分の興味のある業務、適していると思える業務がきっと見つかるはず。ぜひ見つけて、私たちと一緒に働きましょう。
- 総務省には一緒に働きたいと思う上司や同期、やってみようと思える仕事が見つかると思います。一緒に働くことを楽しみにしています！
- 日々変化する社会情勢に目を向ける姿勢が重要だと思います。
- まずは色々なところを見て、自分が何をしたいのか自分自身と向き合ってください。

16

関東管区行政評価局

関東管区行政評価局
第一部長

松田 綱児

昭和57年入省

■ PROFILE *koji matsuda*

昭和57年 4月	行政管理庁採用 九州管区行政監察局
平成16年 7月	行政管理局副管理官
平成18年 7月	大臣官房秘書課秘書専門官
平成19年 7月	行政管理局企画調整課課長補佐
平成20年 4月	行政管理局企画調整課企画官
平成20年 7月	大臣官房秘書課調査官
平成24年 9月	行政評価局総務課政策評価審議室長
平成26年 4月	行政評価局調査官
平成26年 7月	行政評価局評価監視官
平成27年 4月	現職

柔らかい発想が
行政を動かす！

🔊) 行政に風を通すのが仕事です！

行政評価局の仕事は、大きく分けて「調査（評価・監視、政策評価）」と「行政相談」ということになりますが、いずれも行政の課題を見つけてその改善策を探っていくのが仕事です。ここで重要なのは、「事実」と「議論」です。どういうことが起きているのか、誰がどう困っているのか、その原因はどこにあるのか、まずその「事実」を調べて把握するのが第一歩。そして、どうすれば改善できるのか、それを見出すのが次のステップになりますが、改善策をよりよいものとするために、現場の人たちと議論、局内で議論、そして相手行政機関との間で議論、とさまざまな「議論」を重ねます。「事実」をつかまえ「議論」を深めることができれば、行政に風が通ります。立場の違いこそあれ、みんな行政をよくしたいという思いは同じはずですから、そこに風を通すことができれば必ず解が見つかる、そこでどう頑張るかが私たちの仕事なのです。

🔊) 仕事を動かすのは人です！

本省時代、一度だけ相手省の人を怒鳴りつけたことがあります。勧告の詰めをする前段階で、実地調査で把握した内容のチェックをお願いしたところ、いかげんな回答があり、こちらで確認してみたら先方は中身をろくに見てもいないことがわかったからです。「この項目は〇〇省が調査に協力しなかったと書いてあとは白紙にする！」と啖呵を切って受話器を叩きつけました。上に上げられるものなら上げてみる、と腹をくくっていましたが、すぐに詫言が入り、あとはスムーズに進みました。（自慢話ではありません。もっとういやり方があったと思います。若気の至りです…）

行政を動かすのは、カネやシステムではなく人です。行政が滞っているとき、硬直化しているのは、制度だけでなく、それを使う人もなのです。そこで、いろいろな角度からのアプローチを考え糸口を探さねばなりません（上の例は参考にあらず）。柔軟な発想で、人を、そして行政を動かしましょう。



とある
一週間

● 月曜日

定例幹部会終了後、第一部の連絡会。各担当の業務予定を確認し、必要な指示。

● 火曜日

管内の有識者を集めた行政懇談会に出席。今後の調査テーマ等について意見交換。

● 水曜日

A評価監視官より実施中調査の中間報告を受ける。今後の調査計画を検討。

● 木曜日

第二部長と管区部長会議用資料を打ち合わせ。常時監視、地域計画の課題について整理。

● 金曜日

本省より前期実施調査の追加調査の打診あり。B評価監視官と対応方針案を相談。

Private Time

娘二人は成人したので、最近は妻と二人で出歩くことが増えました。週末はウォーキング程度ですが、美術館めぐりにつきあうことも。昨年は、休みをとって、夏は奈良、秋には京都をたずねました。写真は京都国立博物館の琳派展で。旅先で歩いて疲れたあとは地元のおいしい料理とお酒、これで元気を補充しています。



国民の目線
に立って

PROFILE

Natsuko Sato

平成22年 4月 総務省採用
東北管区行政評価局
平成23年 7月 秋田行政評価事務所行政相談課
平成25年 4月 秋田行政評価事務所行政相談課行政相談官
平成25年 8月 山形行政評価事務所評価監視調査官
平成27年 4月 現職

山形行政評価事務所
行政相談課業務係長

佐藤 夏子

平成22年入省

とある
一週間

● 月曜日

金曜日の出前教室の準備。
子供たちはどんな反応をしてくれるかな？

● 火曜日

HPから寄せられた相談の
対応を上司と検討。

● 水曜日

行政相談委員が開設する相
談所に行き、一緒に相談を
受けます。

● 木曜日

来週の行政相談委員研修の
課内打ち合わせで当日の役
割分担を確認。

● 金曜日

行政相談委員と出前教室。
小学生にPR！

🔊) お困りごと、ありませんか？

私が所属する山形行政評価事務所には、日々電話やインターネットなどで様々な相談が寄せられます。行政相談課では、それらの相談内容をよくお聴きして、相手方となる関係行政機関と相談者の間に入り、問題解決のお手伝いをしています。

しかし、中には制度・手続上どうしても解決できないものもあるんです。行政相談では、その改善策を行政機関に働きかけることにより、国民の声を行政運営に活かす役目も担っています。

この行政相談をもっと広く利用してもらうため、行政相談課では、総務大臣が委嘱した民間ボランティアである行政相談委員と協力して、相談対応や、行政相談（委員）制度のPR活動を展開しています。

「相談課」というとデスクワーク中心と思われるかもしれませんが、地域の小中学校や文化祭会場などに行くことも多く、上司や同僚と協力して業務を進めています。行政相談委員との連携も大事で、業務を通じて様々な人との出会いのある職場です。

🔊) 人の役に立てる仕事

私はこれまでに地方事務所での業務を積み重ねてきましたが、振り返ってみると、行政相談と評価監視調査のどちらにも共通したやりがいは、人の役に立てる仕事ができることだと思います。

その中で印象深い出来事として、老人クラブの方からの相談を受け、とある地域にポストが設置されたという行政相談の事例がありました。

後日その地域の小学校での出前教室でポストの事例を紹介したところ、「使ったことがある！」と手を挙げてくれた生徒が何人もおりました。地元の方からこのポストの集荷率が高いことも聞き、当初は交通手段のないお年寄りからの要望でしたが、地域の広い世代に利用されていることに感動しました。

また、評価監視では、事務所単独で「空き家」の調査を行い、調査結果をとりまとめたものが自治体の対策指針に活用されたこともありました。

これらはほんの一例ですが、社会をもっと住みやすくするために、私たちと一緒に働いてみませんか？



Private Time

山形に赴任してから、アシュタンガ・ヨガという比較的動きが多いヨガにチャレンジしています。まだできないポーズも多いのですが、呼吸に意識しながら体を動かすのが心地よく、仕事で凝り固まった体もほぐれてよいストレス解消になっています。

18

北海道総合通信局

北海道総合通信局
電波監理部調査課

波間 広輔

平成20年入省

PROFILE Hama Kousuke

平成20年	4月	総務省採用 北海道総合通信局 無線通信部航空海上課
平成20年	8月	北海道総合通信局電波監理部監視課
平成22年	4月	情報流通行政局情報流通振興課 情報セキュリティ対策室
平成24年	8月	情報流通行政局放送技術課
平成26年	4月	北海道総合通信局情報通信部放送課
平成27年	8月	現職

不法電波から
暮らしを守ります

電波利用の秩序の維持

電波は、テレビ・ラジオの放送、スマートフォンをはじめとする通信機器、ゲーム機等の家電など、多種多様なものに利用されています。また、航空機、船舶の運行や、警察、消防、救急用など、社会の安心・安全の確保にも電波が使われています。

こうした電波の利用には、ルールが定められており、それを監理・監督しているのが総務省になります。このルールを守らない不法電波が発生すると、私たちの暮らしに使われている電波に混信を与え、その暮らしに影響を与えることがあります。そのようなことが起こらないよう、不法電波の監視や無線局の運用状況の監視を行い、電波利用環境の維持に取り組んでいくのが今の私の仕事になります。

特に重要性の高い無線通信に妨害があった場合には、休日や昼夜を問わず業務に就くこともあります。使命感と責任感を持って業務に取り組んでいます。

情報通信行政の魅力

情報通信行政の業務は多様で、私も情報セキュリティ、放送、電波監視とそれぞれ異なる分野で仕事をしてきました。

分野が違えば、知らなければならない技術的な知識も違ってくるため、学ばなければならないことも多いですが、その分野でしか経験できないことがあることや、その分野で働いているからこそ出会える人が多くいるというのが、この仕事の魅力の一つです。

私自身も業務の中で、情報セキュリティや放送の最先端の設備を見学できたことや、大学の先生や企業の研究者の方々と会ってお話できたことは、とても貴重な経験となりました。

また、情報通信行政は常に世間から注目されており、自分の取り組んだ仕事がメディアに取り上げられることや、身の回りで実感できることも多いため、やりがいを感じることができる仕事だと思います。あなたも私たちと一緒に総務省で働いてみませんか？



Private Time

月に一度は、釧路市の実家に帰省して、甥と飼猫に会うのが習慣になっています。

甥も猫もとても可愛いので、日々の疲れを忘れさせてくれる存在です。この子達の手本となる大人になれるよう精進していること、いつも気を引き締め直しています。



月曜日

電波監視システムで固定監査を行い、不法無線局を捕捉します。監査結果をもとに出張予定を立てます。

火曜日

使用者を特定し、指導を行います。

水曜日

前日の不法無線局の情報をPCへ入力し、指導文書の発送を行います。

木曜日

捜査機関からの鑑定依頼を受けて、無線機の鑑定を行います。

金曜日

来週からの捜査機関との不法無線局の共同取締りに向けて、打ち合わせと機材の準備を行います。

19

関東総合通信局

やりがいを
感じられる
職場です。

■ PROFILE Suetsugu Masayuki

平成20年 4月 総務省採用
関東総合通信局無線通信部陸上第二課
平成22年 4月 総合通信基盤局電波部衛星移動通信課
平成24年 4月 情報流通行政局地上放送課
平成24年 8月 情報流通行政局放送政策課
平成26年 4月 現職

関東総合通信局
放送部放送課

末次 正幸

平成20年入省



とある
一週間

● 月曜日

週末に送られたメールの確認、郵送される届出書類等の処理を行います。

● 火曜日

免許人や新規開設を希望する方からの相談を受け、打合せを行います。

● 水曜日

進行管理に気を付けつつ、開設、変更、検査等の提出書類を審査します。

● 木曜日

出張に出ることもあります。現在多いのは放送局開設にかかる電界調査です。

● 金曜日

業務に関して打合せのため、本省へ行くこともたびたびあります。

🔊) 放送を通じて人々の生活に安心と豊かさを

私の所属する放送課では、テレビやラジオなど放送に関わる無線局の許認可業務を行っています。中でも私はラジオに関する無線局の免許等を担当しています。

今就職活動をされている皆さんの中には、ラジオになじみのない方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし、東日本大震災以降、自然災害による停電発生時に、復旧までの間の情報伝達手段として、ラジオの重要性が見直されています。

そこで、既存のAMやFM放送事業者、コミュニティ放送局の開設を希望する事業者などが、かつてアナログテレビ放送に使われた周波数帯を使用して、新たな放送局の開設や、難聴エリア解消のための中継局開設を進めています。

また、同じくアナログテレビ放送の空き周波数帯を使用し、V-Lowマルチメディア放送など新たな放送サービスも広がっています。

私たちは、これら放送局で使用する周波数について審査し、クリーンな電波環境を実現することで、皆さんの生活に役立っています。

🔊) 総務省で働く魅力

総務省職員として情報通信行政にかかわる中で魅力として感じる部分は、人によってさまざまあるかと思いますが、個人的に感じたこととして2点挙げたいと思います。

一つは、人々の暮らしに役立っていることが実感できるという点です。特に放送は広く一般の人々に向けて行われるサービスですので、新たな放送局の開設にかかわるといのは、やりがいの大きな業務だと思います。また、それだけに責任の大きな仕事でもあると思います。

もう一つは、新たな技術が社会に広がっていく様子に触れることができるという点です。放送や通信にかかわる新しい技術については、まず実験試験局により技術基準の検討が行われ、その後研究会や審議会などで技術基準が議論され、最終的には実用化され社会に広がっていきます。総務省職員として、そのそれぞれの段階に関わっていけるというのは、特に興味のある人にとっては、とても魅力的であると思います。



Private Time

週末は、山に登ったり、いちご狩りをしたりと活動的に過ごしています。平日も、メリハリをつけて業務を行うことで自分時間の充実を図っています。(もちろん、自分自身の業務の進行管理だけでなく、ライン内の連携も大事です。)

中堅職員インタビュー



Onabe
Yasuhiro

各務原市副市長
小鍋 泰弘
平成9年入省



- 平成9年 4月 自治省採用
行政局市町村課行政体制整備室
- 平成11年 4月 京都府総務部地方課
- 平成13年 1月 総務省自治行政局地域振興課
- 平成15年 1月 大臣官房秘書課秘書第四係長
- 平成16年 1月 自治財政局財政課制度係長
- 平成18年 4月 自治財政局地方債課資金係長
- 平成19年 4月 各務原市都市戦略企画推進部
企画財政総室財政課長
- 平成21年 4月 自治財政局地方債課企画係長
- 平成24年 4月 消防庁予防課主幹
併任 総務課消防技術政策室主幹
併任 予防課危険物保安室主幹
併任 予防課特殊災害室主幹
命 予防課行政係長事務取扱
- 平成26年 4月 自治財政局地方債課主幹
- 平成27年 4月 現職

■ 求める人物像

「地方」との対話。日本は未経験の人口減少時代に突入します。派生する諸課題はまず地方で現れます。地方に寄り添う総務省。過去から学び、そして過去にとらわれず、今を大胆に発想ができる人が求められます。

■ 仕事の極意

「人」との対話。世の中を決めているのは人です。そして世の中を変えられるのも人です。目の前の課題に対し、どこで誰がどう考えているかを考慮し、それに真摯に謙虚に向き合うことで、解決の糸口が見えてきます。

■ 志望者へのメッセージ

私は市町村という最前線の「現場」から、様々な市民や議会、県や国の「体温」を感じています。総務省はこの体温を感じられる唯一の省庁です。一緒に感じてみませんか？是非、総務省でこの話の続きをさせてください。

Nomura
Takayuki

統計局統計調査部
消費統計課
物価統計室課長補佐

野村 隆之
平成6年入省



- 平成6年 4月 総務庁採用
統計センター管理部情報処理課
プログラム第4係
- 平成7年 4月 統計センター管理部情報処理課
システム第1係
- 平成8年 5月 統計センター管理部情報処理課計画係
- 平成12年 4月 統計局総務課予算係
- 平成13年 4月 人事・恩給局総務課
人材情報システム係長
- 平成15年 6月 人事院総務局企画研究官(参事官付)
- 平成16年 4月 人事院職員福祉局企画研究官(参事官付)
- 平成18年 5月 統計局統計情報システム課主査
- 平成20年 4月 統計局統計情報システム課
開発企画第二係長
- 平成22年11月 独立行政法人統計センター
総務部総務課人事第1係長
- 平成25年 4月 独立行政法人統計センター
統計情報・技術部情報管理課
統括統計職(システム戦略担当)
- 平成27年10月 現職

■ あなたにとって仕事とは

働き続ける限り究めていく「道」のようなものでしょうか。先輩に教えを請い、同僚と切磋琢磨しながら、日々新たな課題を克服していく中で、まだまだ自身の成長を実感できることが喜びと生きがいにつながっています。

■ 求める人物像

私が携わっている「統計」は客観的であることで説得力を持ちます。仕事においても、自身のやるべきことを広い視野と柔軟な思考で考え、客観視する姿勢を忘れずに実行できる人が望ましいと考えます。

■ 志望者へのメッセージ

「統計」は、社会の実像を映し出す「鏡」であるとともに、未来を切り拓く政策の立案・実施に欠くことのできない「羅針盤」となる存在です。幅広く社会に貢献可能な、魅力ある「統計道」の門を、ぜひ叩いてください。

Nohara
Fumiko

情報流通行政局
情報通信作品振興課
放送コンテンツ海外流通推進室
課長補佐

野原 史子
平成8年入省



- 平成8年 4月 郵政省採用
大臣官房人事部人事課能力開発室
- 平成8年 7月 通信政策局総務課
- 平成10年 4月 人事院行政官国内研究員(東京大学大学院)
- 平成12年 4月 大臣官房国際部国際政策企画室
- 平成12年 7月 大臣官房国際部国際政策課
- 平成14年 8月 総合通信基盤局国際部国際経済課
- 平成15年 8月 総合通信基盤局国際部
国際経済課専門職
- 平成17年 5月 在ヨルダン日本国大使館二等書記官
- 平成20年 7月 情報通信国際戦略局国際経済課
北米経済係長
- 平成20年 10月 情報通信国際戦略局国際経済課
中南米・北米経済係長
- 平成21年 7月 福山市企画総務局企画部参与
(情報推進担当)
- 平成23年 4月 福山市企画総務局企画部参与
(政策調整・情報推進担当)
- 平成24年 8月 総合通信基盤局電波部移动通信課
第一業務係長
- 平成26年 4月 総合通信基盤局電波部
移动通信課課長補佐
- 平成27年 8月 現職

■ あなたにとって仕事とは

仕事とは、喜びだと思います。誰か(時に自分自身)や何かのために働き、働くことを通じて学び、成長することは喜びです。ただし、苦しいこともあり、投げ出したい瞬間があるのも事実ですが……。

■ 求める人物像

チャレンジ精神旺盛な人です。異動が多く、時に引っ越しを伴う異動があることもありますので、どのような仕事・場所であっても、自分らしく前向きに取り組んでいこうとする人は頼もしい人材だと思います。

■ 志望者へのメッセージ

人生に無駄なことはないと思います。成功したとを感じる経験だけではなく、失敗したとを感じる経験も含めて、これまでの自分を肯定し、さらなる飛躍を求めて総務省の扉を叩いてもらいたいと思います。

内閣官房内閣人事局
(労働係 兼 国際係)

石川 由佳

平成25年入省

PROFILE

Ishikawa Yuka

平成25年10月 総務省採用

統計局統計情報システム課最適化調整係

平成27年 4月 現職

国家公務員の
人事行政を担う



とある
一週間

月曜日

ILOで開かれる委員会に向け、他省庁と連絡を取り出張の調整を進めます。

火曜日

午後は大学教授との意見交換のため、都内の大学キャンパスへ外出。

水曜日

他省庁からの照会案件（OECD、TPP関係等）を確認し、局内に作業を依頼。

木曜日

予算など局内照会の作業を仕上げ、提出。その後、国際事務資料集の編集作業。

金曜日

来月訪日予定のタイ政府対応について、資料作成や段取りなど、準備開始。

世界の事例から気づくこと

内閣官房内閣人事局は、これまで総務省や人事院が担ってきた国家公務員の人事行政等の事務を集約させ、平成26年5月に発足した組織です。国家公務員として働きながら、自身のよりよい働き方について真剣に向き合える職場です。

その中で私は、諸外国制度調査や、国際労働機関（ILO）への対応等について担当しています。特に諸外国制度調査では、調査テーマ・国の選定から、現地調査、報告書の取りまとめまで、一連の業務すべてに携わることができました。自国の制度を検討する上で、海外の制度・実態を把握しておくことはとても大切です。現地調査ではアメリカのワシントンD.C.へ約1週間出張し、人事管理における取組・課題について連邦機関や労働組合にヒアリングを行いました。訪問先の実情を伺い、時には日本の制度について説明をする中で、内閣人事局が所管する業務について広い視点で考えることができるようになり、貴重な経験となりました。

多様性に魅力を感じます

入省直後は総務省統計局に配属され、システムの運営やアプリの開発、統計提供サイトの広報等を通じて、統計を便利に活用してもらうための業務を行ってきました。総務省での業務経験はまだこの1年半しかありませんが、短い期間の中で、各省・自治体の統計担当者に向けた操作研修を開催したり、韓国で開催されたシステム関連の会合に出席したりと、多岐にわたる業務を経験できました。

こうして振り返ってみると、採用説明会や職場で多くの先輩方が「総務省では幅広い業務に携わることができる」とおっしゃっていたことが印象に残っています。今は一つの担当の中でも多くのことを学べたと感じています。総務省にはまだまだ私の知らない仕事がたくさんあると思うと、これからどんなことに携わっていけるのか、とてもワクワクします。

総務省は分野の広さの数だけ人材もバラエティ豊かで、一つの枠に捕らわれることなく働ける、とても魅力的な職場だと思います。



Private Time

休日は、好きなアーティストのライブに行ったり、友人といろいろな場所に遊びに行ったりと、楽しい時間を過ごしています。先日は、同期のみんなとディズニーリゾートへ行ってきました。思い切り遊んで、はしゃいで、とてもリフレッシュできました。

復興庁福島復興局での仕事

21

福島復興局

福島復興局参事官付主査

坂本 浩一

平成21年入省

PROFILE Koichi Sakamoto

平成21年 4月 総務省採用
行政管理局行政情報システム企画課
平成22年 4月 行政評価局総務課
平成22年 7月 併任 国家公務員制度改革推進本部
事務局局員（～23年12月）
併任 内閣官房内閣総務官室（～23年12月）
平成24年 4月 行政評価局評価監視官付
平成26年 4月 現職



とある一週間

月曜日

・復興庁の施策の紹介や意見交換を行うため自治体を訪問。

火曜日

・前日の意見交換で出た意見を整理し、関係者と共有。
・翌日の会議の準備。

水曜日

・福島県、市町村、復興庁等が集まる会議に出席。

木曜日

・福島の復興の現状や魅力を発信するため地域で頑張っている企業等を取材。

金曜日

・福島復興局全職員で今週1週間の業務内容・来週以降の予定を共有。

福島の復興と再生に向けて

現在、復興庁福島復興局に出向しています。福島県は東日本大震災の地震・津波による被害に加え、原子力事故の影響が大きく、一部地域では現在も避難指示が続いています。復興庁の仕事は、各自治体が抱える課題の把握から始まり、自治体と一緒に、1つ1つ課題を解決していくことです。時には既存の制度で対応しきれない課題に直面することもあります。知恵を出し合い解決策を考え、場合によっては新たな制度を創設することもあります。また、県外へ避難されている方も多いため、福島の現状や支援制度について、避難先を訪問し直接説明する場を設けています。更に、多くの方に福島の復興の現状や魅力を知ってもらうための情報発信にも取り組んでいます。

復興庁に在ると、各省が所管している制度から放射線に関する正しい知識まで勉強することは多いですが、悩んだ時には個々の制度を熟知した各省の出向者からアドバイスをもらえ、様々な経験を積んだ方と接することができ勉強になりました。これらの経験は、総務省での業務のみならず、今後の人生にも活かしたいと考えています。

多様な経験を糧に

このパンフレットを見ていただければわかるように総務省は行政評価、統計、情報通信、地方自治等の幅広い分野を所管しています。

私はこれまで総務省での独立行政法人の評価、納税等のオンラインシステムの利用促進を図るための仕事、内閣府での国会関係の仕事、現在の福島復興局での仕事等、入省して7年ですがたくさんの業務を経験させていただくとともに、いろいろな考え方を持った方と接する機会をいただき勉強にもなりました。



Private Time

福島には米、果物、日本酒などのおいしい食べ物や温泉がたくさんあるので、夏は桃狩りにでかけたり、秋は紅葉、冬は雪景色を見ながら温泉につかったりと、その時の気分で福島を堪能しています。時には地元の友達や家族を呼んで観光案内をすることもできます。日本酒も絶品です。

一步先を見据えて 市町村とともに

PROFILE

Yamaguchi Noriaki

平成 6年 4月	自治省採用 行政局公務員部公務員課
平成 8年 4月	北海道市町村課
平成10年 4月	行政局行政課
平成12年 4月	大臣官房総務課秘書係長
平成13年 1月	総務省大臣官房秘書課秘書第二係長
平成14年 8月	自治行政局行政課行政第三係長
平成15年 4月	自治行政局行政課行政第二係長
平成16年 4月	自治行政局行政課行政第一係長
平成20年 4月	南城市政策調整監
平成22年 4月	自治行政局行政課主幹 併任 自治行政局行政課総務室課長補佐
平成25年 4月	徳島県保健福祉部福祉こども局こども未来課長
平成26年 4月	現 職

徳島県政策創造部
地方創生局市町村課長

山口 憲明

平成 6年入省



とある一週間

月曜日

とある町の副町長さんが来課され、同町の来年度新規事業の財源について協議

火曜日

県議会・総務委員会に出席し、若者向け選挙啓発の取組内容について答弁

水曜日

知事・市町村長地域懇話会に出席し、市町村長の皆さんと忌憚のない意見交換

木曜日

総務省に出張し、市町村の財政状況などについて自治財政局に説明

金曜日

市町村役場を訪問し、副市町村長さんなどに県の新規事業への協力を依頼

市町村が元気であり続けるために

徳島県には、葉っぱビジネスで有名な上勝町をはじめ、サテライトオフィスの誘致が進む神山町や美波町など24の市町村があります。市町村課の役割は、住民に最も身近な市町村がしっかりとした行財政運営を行い、個性豊かで魅力ある地域社会を実現することができるよう支援していくことです。最近では、地方創生に積極的な市町村に対して交付金と併せて専門的なアドバイザーを派遣する制度の創設や、市町村の職員が時間と場所を選ばずに仕事ができるようになるためのテレワークに関する研究といった、時代の要請に対応した新しい取組を進めています。小規模な市町村が多い徳島県においては、県が市町村をきめ細かく支援していくことが特に求められています。

また、市町村課は県選挙管理委員会事務局として、若者に対する選挙啓発の強化や憲政史上初の県をまたがる合区選挙の実施のために高知県との調整にも鋭意取り組んでいます。

現場での経験を国の施策に反映

私は入省以来、長らく地方分権や地方自治制度の企画・立案にたずさわってきました。この間、北海道、沖縄県南城市、そして徳島県と3度の出向を経験しています。自治体に赴任すると、地域の抱える切実な課題に直面し、解決策を模索していく中で、国の法令や施策が地域の実情に必ずしもあっていないことに気づかされます。私のミッションは徳島県の市町村の発展のために仕事をしていくことはもとより、地方自治の最前線である市町村の実情をつぶさに把握し、総務省に帰任した際には、それらを地方自治の制度づくりに反映させていくことだと思っています。

若い頃から都道府県や市町村で責任あるポストに任せられ、霞が関においては、現場での経験に裏付けられた説得力のある、一步先を見据えた施策を打ち出していくことができる……このこそ、総務省で働くことの醍醐味です。



Private Time

徳島には家族で赴任しています。長女は地元の市立幼稚園に入園し、次女も児童館に通って、大勢の友達を作るなど、地域の皆さんにすっかりお世話になっています。家族で阿波おどりにも参加しました。最近は娘たちから阿波弁が飛び出しています。徳島での生活は娘たちにとってかけがえのない財産となることでしょう。

23

千葉県いすみ市

地方創生
人材支援制度
1期生

PROFILE

Hayakawa Takuya

平成12年	4月	自治省採用 大臣官房会計課
平成13年	1月	総務省自治税務局固定資産税課
	8月	鹿児島県総務部地方課
平成15年	4月	国土交通省都市・地域整備局特別地域振興課
平成17年	4月	独立行政法人消防研究所総務課
	10月	独立行政法人消防研究所総務課主査
平成18年	4月	消防庁消防大学校庶務課主査
	9月	自治税務局企画課総務室総務係長 併任 大臣官房企画課頑張る地方応援室
平成20年	4月	自治行政局地域振興課地域振興第三係長 併任 自治行政局地域振興課地域振興第二係長 併任 大臣官房企画課頑張る地方応援室
平成20年	7月	自治行政局地域自立応援課企画第二係長
平成22年	4月	自治行政局地域政策課企画第一係長 併任 自治行政局地域政策課緑の分権改革推進室
平成23年	4月	併任 自治行政局地域政策課企画第二係長
平成25年	2月	併任 自治行政局地域政策課地域の元気創造推進室
平成27年	4月	現職

千葉県いすみ市参事

早川 卓也

平成12年入省

とある
一週間

月曜日

市長と出張。あの中華の鉄人の店でいすみ食材を使っているシェフ向け勉強会を開催。

火曜日

地域おこし協力隊の採用面接。隊員は外部目線で地域の魅力を引き出してくれます。

水曜日

商工会青年部総会で講演後、意見交換。施策を考える上で大いに参考になります。

木曜日

いすみ外房フィルムコミッションに出席。孤独のグルメ SEASON 5 が第1号案件でした。

金曜日

議会答弁調整会議に出席。自分が担当する総戦略の答弁案を市長に確認します。

地域 の 商社マンとして

「孤独のグルメ」のロケ誘致、料理の鉄人の店で食材勉強会、一流シェフを招いての現地商談会、冬の海で船釣り、この1年間で携わった地方創生の最前線での印象深い仕事です。

平成27年4月から地方創生人材支援制度1期生として、千葉県いすみ市に派遣されています。いすみまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を主導し、現在、戦略に掲げた4つの基本目標（雇用創出、所得向上、人口減対策、地域魅力向上）を達成すべく、上記以外にも

- ・「港の朝市」を舞台とした移住&起業計画
- ・創業・事業拡大支援の受け皿「いすみ市産学金官地域ラウンドテーブル」の設置
- ・近隣市町と連携してのロケ誘致組織「いすみ外房フィルムコミッション」の旗揚げ
- ・地域住民・商店街に活力を与えるための大学との域学連携 等々

27年度から採用を始めた地域おこし協力隊員9名の力も借りつつ、いすみ市の価値を高められるよう地域の商社マンとして、いすみ市の地域創生に取り組んでいます。

出会いの多い総務省

鹿児島県庁（市町村担当約2年）、国土交通省（奄美振興担当2年）、総務省頑張る地方応援室（約1年）、地域力創造グループ（約7年）と、地域と密接に関わる部署で働く機会を得ました。地方や他省に向向して、様々な人と出会い、様々な経験を積むことができるのが総務省の魅力の1つです。

地域力創造グループでは、地域おこし協力隊制度をはじめ定住自立圏や地域の元気創造事業など地域を元気にするための施策に関わり、説明会や講演、大臣出張随行等で北は北海道から南は沖縄県与那国島まで様々な地域を訪れました。離島や豪雪等の条件不利地域でも、島根県海士町や北海道下川町のように独自の取組で職員が地域を牽引し、素晴らしい成果を出している地域がありますが、そこには公務員の枠には収まらない商社マンのような職員が存在します。こういった方々と出会い、いろいろな話をしてきたことが、いすみ市で仕事をする上で大きな財産になっています。



Private Time

国内外を問わずの旅行、食べ歩きが趣味です。最近は毎週日曜日に開催される大原漁港「港の朝市」によく足を運びます。旅先でも地域の生活感を肌で感じるため、市場や露店などを覗きますが、ここは目の前の海で取れた伊勢海老や出来立ての干物を自分で炭火焼にできます。自分史上、最高の朝市をいすみ市で見つけました！

様々な方との 出会いを通じて



岩手県政策地域部
市町村課

中田 哲平

平成25年入省

PROFILE

Nakada Teppei

平成25年 4月 総務省採用
自治行政局行政課総務室
平成26年 4月 自治行政局行政課
平成27年 4月 現職



とある 一週間

月曜日

翌日の出張に向けて段取りの確認や資料の準備を行う。全国各地を訪問する機会があり、勉強になる経験です。

火曜日

被災市町村の派遣職員の見学を行うため、課長の随員として神奈川県に出張。

水曜日

翌日の課長協議に向けて資料を作成。疑問点等が生じた場合は上司に相談します。

木曜日

合併に関する調査結果の報告書について課長協議。ご指摘をいただき完成に近づきます。

金曜日

今週の担当業務の進捗状況を確認し、来週に向けた準備。金曜日なので早めに仕事を切り上げ同僚と飲み会へ行きます。

🔊) 岩手県で働くということ

私は今、総務省職員としてではなく、岩手県職員として働いています。市町村課に所属しており、調整担当として被災市町村の人材確保や県内合併市町の検証に関する業務などを行っています。具体的には、被災三県が合同で各都道府県に訪問する際の日程調整・資料作成、被災市町村に派遣されている応援職員のメンタルヘルスケアや県内の合併市町の現状を調査のうえで報告書を作成する業務などであり、復興関係から合併関係まで様々な種類の業務を行っています。

現在の業務では市町村職員や都道府県職員と接する機会が多くあり、様々な立場の方がそれぞれの思いを持って、地域のために働かれていることを実感することが多くあります。

地方とのつながりの強い総務省職員として今後働くにあたっては、地方の立場や考え方を理解することは必要不可欠であり、このような経験ができることは今後にとって大きな財産になると思っています。

🔊) やりがいのある職場

総務省で働くまでは、国家公務員はもの静かな印象を持っていましたが、実際には、日常的に様々なところで議論が交わされており、一人一人が地方のためにどうしたらよいかということ真剣に考え、熱い気持ちを持って業務に臨んでいることがわかり、それまで持っていた印象が大きく変わりました。また、先輩方のそのような姿を見て自分もそうなりたくて強く思いました。

さらに、総務省では都道府県等の職員や他省庁の職員の方も一緒に働いており、一つの職場に様々な背景を持った人々が集まっています。そのため、職場で新たな出会いが数多くあることはもちろんのことながら、業務に関しても様々な視点や考え方に接することで、自らの欠点や苦手な点などに気付きやすく、改善することができる職場です。

このように、総務省は非常にやりがいのある職場なので、ぜひ一度職員の話聞いてみてください。



Private Time

休日は職場の同僚と県内の観光地等に遊びに行ったりしています。岩手県は面積が広大で県内でも北と南では全然環境が違うので、様々な体験ができ非常に面白いです。

また、東北ならではの雪合戦や競馬場でのリレーマラソンなどのイベントに参加し、岩手県だからこそできることを楽しんでいます。

地方の現場で
学ぶこと鹿児島県総務部
市町村課

柿本 克俊

平成25年入省

PROFILE

Kakimoto Katsutoshi

平成25年10月 総務省採用
大臣官房秘書課
併任 自治大学校

平成26年 4月 自治税務局企画課

平成27年 4月 現 職

とある
一週間

月曜日

桜島の雄大な姿に感動しながら出勤し、市町村の財政状況資料集を係員総出でチェックします。

火曜日

明日から始まる各市町村の地方債ヒアリングの資料の読み込みや、総務省からの調査とりまとめを行います。

水曜日

地方債ヒアリングの始まりです。各市町村の財政担当者から説明を受け、疑問点を確認し、内容を詰めていきます。

木曜日

来週からは公営企業のヒアリングです。総括として係内の業務が円滑に進むよう各市町村の状況を把握し、資料を調製します。

金曜日

県内市町村の財務書類の作成状況に関して上司に説明し、県民向けHPの公表をします。今日は仕事を早めに切り上げ、同僚とだいやめ（晩酌）です。

市町村の最善を見据えながら

国の施策は地方の実態に即したものでしょうか？
霞ヶ関という場所から本当に地方の実情が見えているのでしょうか？
学生時代、そんな思いを抱いて就職活動をしていた私は、その疑問に真摯に向き合ってくださいる職員と職場に出会いました。それが総務省です。
私は現在、南国情緒溢れ、離島も多い薩摩の地・鹿児島県で働いています。
所属する市町村課は「市町村行財政の総合窓口」として、国と市町村を繋ぐ役割を担っています。そして、私が座る財務係は、市町村の決算統計や地方債に関する手続き、公営企業の経営などの調査・ヒアリングを行っています。自分の勉強不足を恥じ、悪戦苦闘する日々ですが、目の前に広がる情報を取捨選択し、市町村の状況を勘案しながら、常に最善の形を周囲と議論しています。
私は今、霞ヶ関からでは見えにくい現場の実情を身近に感じ、国の政策がどう実践されているかを目の当たりにするチャンスを頂いています。

それぞれの「ふるさと」のために

総務省に入省して、自分の生まれた土地だけが「ふるさと」ではないと強く感じるようになりました。自治税務局や鹿児島県庁にて、上司や地方自治体の方々と一緒に仕事をする中で、人それぞれのふるさと（貢献したい・支援したい・誇りたい地域）が全国にはたくさんあると感じたからです。
総務省は人それぞれの地方（ふるさと）のために、地方自治体が持つ魅力や課題を、様々な視点から見つめ、共感し、その根本を突き詰めていくことで、これからの地方を、日本を支えていくことができる場だと思います。自治税務局では、法律を改正する作業に携わることができましたが、その業務はまさに地方が持つ問題の根本を考え、最善を模索し実践する総務省の姿だと思います。また、地方勤務を経ることで多くの仲間に出会い、現場主義の感覚を培うことができるのも総務省の魅力です。地方への熱い思いを持った職員が皆さんをお待ちしています。是非話を聞きに来てください。



Private Time

鹿児島県には、息をのむほど美しい自然や個性的な伝統文化を持つ有人島が28あり、現在その全てを巡るべく奮闘中です。旅行等で行ったどの島も思い出深いですが、先日、週に2度しか定期船が通らないトカラ列島に行き、その列島の有人7島を巡るマラソン大会に同僚と参加してきました。日々鹿児島の素材に魅了されています。

ロシアでの在外公館勤務

26

在ロシア日本国大使館

在ロシア日本国大使館
二等書記官

廣瀬 謙

平成16年入省

PROFILE

Hirose Ken

平成16年10月	総務省採用
	総合通信基盤局国際部国際政策課
平成18年 8月	総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
平成21年 7月	情報通信国際戦略局国際協力課国際展開支援室
平成22年 4月	情報通信国際戦略局国際協力課国際展開支援室 情報通信支援係長心得
平成23年 7月	総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課 接続制度係長
平成25年 5月	情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室主査
平成25年 7月	情報流通行政局郵政行政部郵便課国際企画室 国際企画係長
平成27年 6月	現職

とある
一週間

● 月曜日

新聞や通信マスコミ省の報道発表から情報収集。重要な動きがあれば東京に報告します。

● 火曜日

日本企業と打合せ。当地でのビジネスの状況を聞き、大使館支援の方法を考えます。

● 水曜日

大使館ホールで日本企業のセミナーを開催。大使館も共催という形でお手伝い。

● 木曜日

総務省との政策対話に向けて、通信マスコミ省のカウンターパートと打合せ。

● 金曜日

情報通信関係日本企業の駐在員の方々との懇親会に参加。

▶) 日本企業にとって最も敷居の低い大使館を目指して

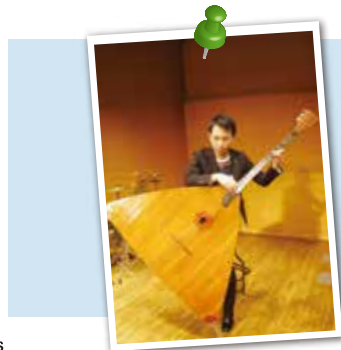
私は現在外務省に出向し、在ロシア日本大使館で勤務しています。大使館では経済部に所属し、情報通信分野及び医療分野を担当する他、日本企業支援業務を担当しています。特に日本企業の海外展開支援は大使館の重要な業務の一つです。ロシアの間ではエネルギー分野が目目されがちですが、農業、医療、都市環境、インフラについても有望分野として日露協力の具体化が進められており、大使館では各省庁等から出向しているアタッシュェが各分野での経験を活かして業務を行っています。

総務省の関係では、特に郵便分野における日露協力を進めています。日本型郵便のノウハウや日本企業の活動がロシア国民の生活基盤の向上に寄与するものとして期待しています。また、総務省とロシア通信マスコミ省の間では、情報通信分野の政策対話や関係企業も参加する日露ICTフォーラムを開催してきた実績があります。大使館の立場からこういった取組を側面支援しています。

▶) 国内外を問わず様々な経験ができます

行政評価、地方自治、情報通信等と総務省の所管分野は幅広いですが、外国と関係する業務も意外とたくさんあります。これまで私が総務省から出張で訪問した外国は18カ国。特に地上デジタル放送日本方式の展開に向けた調査で訪問した南部アフリカや、郵便分野のマルチの政策対話のために訪問したエクアドルが記憶に残っています。EPA等の通商交渉では各国の利害関係が相対し厳しい交渉が行われますが、こういった交渉に携われたことも貴重な経験です。さらに現在の私のように在外公館で外交官として働く機会もあります。国内外を問わず様々な経験ができることは総務省の魅力の一つだと思います。

私の場合、国際業務の担当と国内規制の担当を交互に経験できたことが非常に良かったと考えています。国内の実情を把握せずに自信を持って外国政府と対話や交渉を行うことはできません。逆に国内施策を担当する際にも自然に諸外国の事例に目を向けるようになりました。



Private Time

学生時代からの趣味は楽器演奏です。ロシアの民族楽器であるバラライカも演奏します。バイオリン、ピアノ、チェロ、コントラバスがあるように、バラライカにもプリマ、アルト、バス、コントラバスがあります。写真は一番大きいコントラバス・バラライカ。皆さんも機会があればロシア民族楽器の演奏を聴いてみて下さい。

一緒にステップアップ
していきましょう人事院行政官長期在外研究員
(米ミシガン大学)

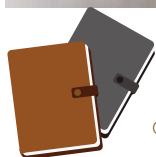
田中 一樹

平成19年入省

PROFILE

Tanaka kazuki

平成19年10月	総務省採用
	総合通信基盤局電波部電波環境課
平成20年 7月	自治税務局市町村税課
平成22年 7月	総合通信基盤局総務課
平成24年 8月	情報通信国際戦略局国際政策課
平成26年 8月	情報通信国際戦略局国際経済課主査
平成27年 6月	現職

とある
一週間

● 月曜日

政策効果分析の講義と組織マネジメントの講義。予習が大変です。

● 火曜日

ミクロ経済の講義と科学政策のセミナー。毎回興味深い内容です。

● 水曜日

マネジメント講義でグループワーク。英語での議論は大変です。

● 木曜日

授業後、日本語を学ぶアメリカ人の会話サークルへ。

● 金曜日

終日、一週間の復習と演習を兼ねたディスカッションクラス。

🔊) あらためて勉強中

私は、長期在外研究員制度によりミシガン大学フォード公共政策大学院に派遣いただき、研究に従事しています。

皆様も実感できることと思いますが、情報通信技術は日々の生活への浸透や他産業における活用等、その進歩には目覚ましいものがあります。そして情報通信産業が社会における存在感を増すとともに、それをいかに発展・展開していくべきか、情報通信政策に課せられた役割は大きく、複雑になってきています。そのような業務に携わるにあたり、いかに効率的な行政を行い、政策の効果を検証し、そして次の政策立案につなげるか、このような能力を身につけるべく、様々な政策事例、社会問題等を題材とし、政策分析や組織マネジメント等について学んでいます。

ここフォードスクールは政策分析の分野での評価が高いことから、米国内はもとより世界各国から様々な経歴を持った方が学んでおり、国際的な経験という意味でも刺激的に過ごしております。

🔊) 働きながら自らを高める

総務省で働くことを通じて感じた魅力のひとつは、色々な成長の機会があるということです。まず、総務省の所掌する業務の範囲は広く、同時にそれだけ広い経験をすることができるチャンスが用意されているといえます。私も情報通信政策のほかに、地方税制の業務に二年間従事させていただきました。まったく異なる業務内容、日本全国の自治体の方々と共に働く機会を通じ、多くのことを学ぶことができました。

またどの部署においても、単に日々の業務だからこらず、という事ではなく、それが社会全体や私たちの日常生活にどのような影響を与えるのか、その業務のために自分に必要なものは何なのか、このような広い視野と高い目的意識を持った方々と出会うことが出来ました。そのような熱意に応えるため、関連した研修等の機会も様々に準備されていると思います。このため、総務省は業務を通じて新しい能力を伸ばせる、そんな魅力的な組織だと思っています。



Private Time

誇張でも何でもなく土日はほとんど予習と復習で終わってしまうのですが、やりくりをしつつ色々なところに出かけて（いこうと努めて）ます。最近のお気に入り、大学美術館です。近場で手軽に行けるうえに出入り自由、でも規模も収蔵もレベルは高い、言う事なしの娯楽です。

ワークライフバランスって？

仕事も育児も自分らしく…

私は、内閣府男女共同参画局への出向中に妊娠し産休に入りました。働く女性の支援や、ワークライフバランス、DV対策等を担当する部署です。そのため、妊娠したときには仕事上ワークライフバランスを推進する立場にいたわけですが…、自分とは言うとも仕事中心の生活。妊娠が仕事の仕方を見直すいいきっかけとなりました。周囲の理解とフォローにも支えられ、テレワークや時差通勤を活用して無事出産することができました。現在は、仕事中心だったときには考えられないほどどっぷり育児中心の生活を送っています(笑)。

最近はロールモデルとなる先輩方も増え、妊娠・出産・育児・介護等、色々なライフステージに合わせて自分らしいタイミングで柔軟な仕事の仕方ができる環境が整っています。

これから社会人になるみなさんがどのような生き方を選択するかはみなさん次第。ぜひご自身のワークライフバランスを上手くコントロールして充実した社会人生活を送ってください。



恩田 友紀

Onda Yuki
平成 11 年入省

総務省
職員の

子育てママからのメッセージ

ワーク・ライフ・バランス

「女性の力」を職場と家庭で発揮させよう！

現在、行政評価局に所属しており、現在は、預かり施設を中心に子育て支援に関する各府省の業務の現場における実施状況を調査し、課題や問題点を把握・分析した上で改善方を提示する仕事を行っています。私には3歳と2歳の子供がおり、まさに自身にとってタイムリーな仕事として取り組んでいるところです。

2015年4月に二人目の育休を終えて2度目の職場復帰でしたが、子供が一人と二人では全く状況が違い、通勤時間も長いため、当初は不安も多かったです。しかし、朝夕2時間の育児時間制度を活用し、遅らせて出勤することで、朝のうちに夕食の支度もでき、お迎えの時間にも間に合うように退庁することができています。仕事の方も、周りの方は子育てに理解がある方ばかりなので、子供の病気や行事等でも看護休暇やテレワークを利用し、夫の協力も得ながら、仕事と育児との両立をさせてもらっています。

現在は産休・育休を取っている女性が増えており、それに対する職場の理解・支援が進んでいます。様々な家庭環境に合わせてながら仕事を長く続けていける環境だと思います。



行政評価局
評価監視調査官
鳥井 美智
Michi torii
平成 17 年入省

Q&A

Q 最近の採用実績は？

A 平成27年度一般職試験合格者からの採用者数は本省が49人、地方支分部局が79人となっています。本省採用者は本省内の各部局や東京都内の各機関に配属されます。地方支分部局採用者は、採用された地方支分部局に配属されます。過去3年間の一般職（大卒程度）試験合格者の採用者状況は以下のとおりです。

	地方支分部局採用者		
	本省採用者	管区行政評価局行政評価事務所	総合通信局総合通信事務所
25年度試験合格者	48 (12)	33 (14)	18 (4)
26年度試験合格者	52 (18)	40 (17)	18 (8)
27年度試験合格者	49 (17)	45 (19)	34 (15)

★人数は各年度の国家公務員一般職（大卒程度）採用者数 ★カッコ内は女性の内数 ※各年度試験には10月等に採用された人も含まれます。

Q 採用はどのように決定するのですか？

A 採用担当者とななたとの面談を積み重ねて、あなたの長所・やる気・可能性などを総合的に判断して決定します。面談による人物本位の選考を行いますので、積極的に訪問していただき、あなたの魅力をアピールしてください。

Q 最初に配属されると、ずっとその部署で勤務するのですか？

A 配属された部署によって異なりますが、多くの人は2～3年に一度、別の部署へ異動することとなります。本人の希望・適性に応じて異動し、採用地以外の勤務地へ転勤する場合があります。

Q 子育てに関し、どのような支援がありますか？

A 女性職員の産前・産後休暇の取得はもちろん、男性職員も含め、子供が3歳になるまで育児休業を取得することができます。また、働きながら育児をするための勤務時間制度も用意されています。他にも、国会業務や窓口業務などを除き、テレワーク（在宅勤務）も可能です。

Q 採用後の研修は？

A 採用時に新任者研修を行うほか、業務に関連した研修や希望者を対象とした専門研修・昇進時の研修など様々な研修があります。

Q 採用後のキャリアアップについて教えてください。

A 一般職で採用となる職員は、入省後、内部部局の課・室において、係員・係長・課長補佐等として、本人の希望や適性に応じて、主に特定分野の業務（例えば行政管理、地方自治、放送行政、情報通信行政、統計など）を中心に担当することになります。ただし、必ずしも特定分野の業務のみではなく、キャリア形成の過程で、大臣官房やそれ以外の業務を担当したり、本省と地方支分部局を行き来する場合があります。また、都道府県や市町村の幹部職員ポスト等への派遣、他府省等や海外の在外機関への出向、国内外の大学等への留学の機会もあります（3～4ページもご覧ください）。

Q 総務省の具体的な業務内容を聞きたいのですが、どうすればいいですか？

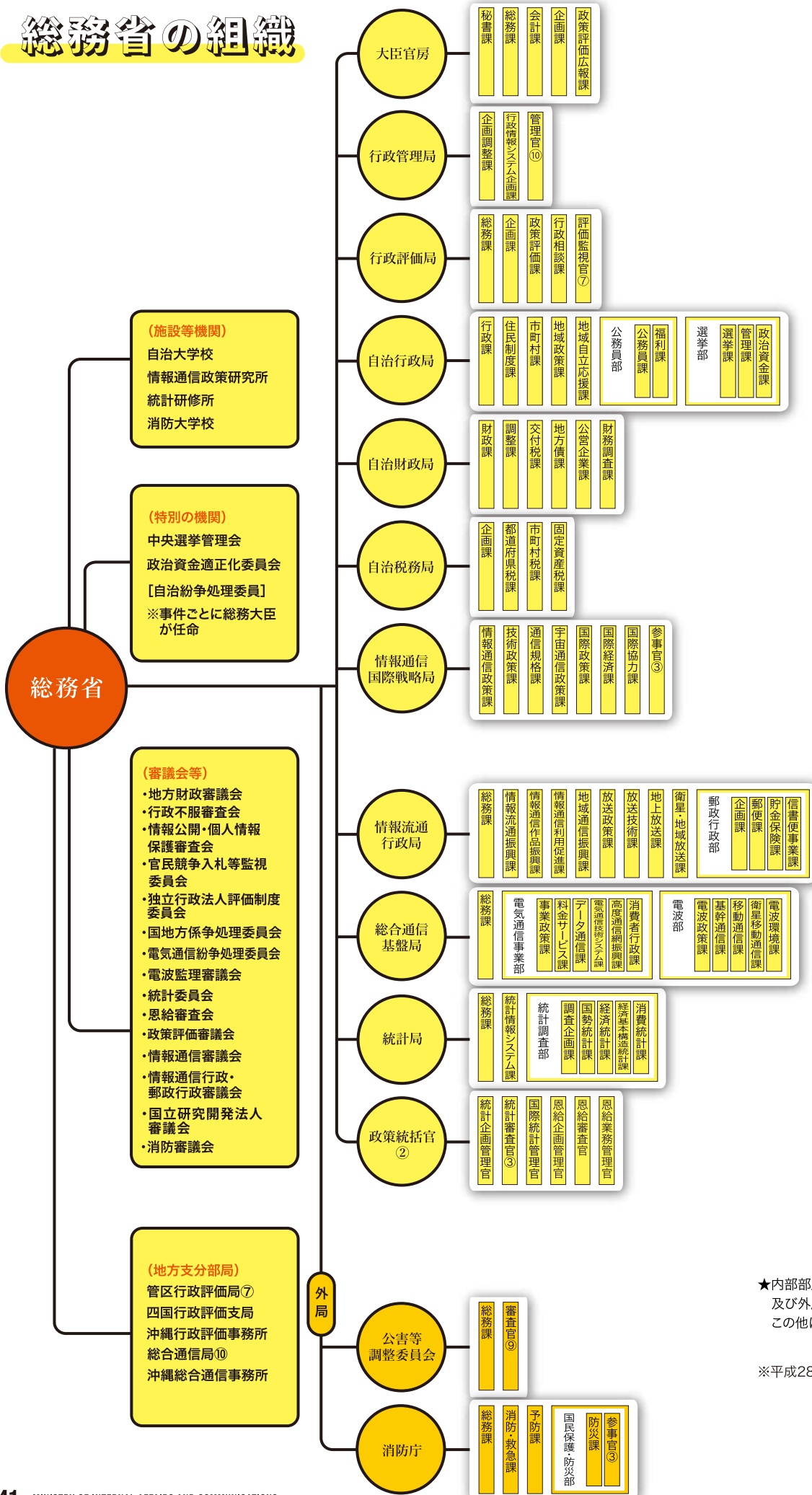
A 総務省では、平成27年度を例にとると、総務省独自の業務説明会（8月5日～8月11日）、人事院主催の合同説明会（全国各地での一般職各府省合同業務説明会、霞が関OPENゼミ）等を行いました。また、いくつかの大学においても業務説明会を行いました。

平成28年度も、同様に説明会を開催いたしますので、総務省ホームページ内の採用情報にて開催日程をご確認ください。

Q 福利厚生等はどうなっていますか？

A 総務省に採用されると、総務省共済組合に加入することになり、医療給付等を受けられるほか、全国各地にある共済施設が利用できます。また、住宅資金の貸付制度もあります。

総務省の組織



★内部部局、施設等機関、地方支分部局及び外局を記載している。この他にも関係機関がある。

※平成28年4月現在

連絡先

採用予定部局 総務本省 ※消防庁を含む

採用窓口	連絡先
事務系 大臣官房 秘書課人事係	〒100-8926 千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館7階 03-5253-5111(代) 03-5253-5073・5074・5075(直)
技術系 【情報通信分野】 総合通信基盤局 電波部電波政策課	〒100-8926 千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館10階 03-5253-5873(直)
【統計分野】 統計局 総務課人事係	〒162-8668 新宿区若松町19-1 総務省第2庁舎 03-5273-1118(直)

採用予定部局 管区行政評価局

採用窓口	連絡先
北海道管区行政評価局 総務課	〒060-0808 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎 011-709-2311(代)
東北管区行政評価局 総務課	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎 022-262-7831(直)
関東管区行政評価局 総務部総務課	〒330-9717 さいたま市中央区新都心1-1 さいたま新都心合同庁舎1号館 048-600-2302(直)
中部管区行政評価局 総務課	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館 052-972-7411(直)
近畿管区行政評価局 総務部総務課	〒540-8533 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館 06-6941-3431(直)
中国四国管区行政評価局 総務課	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎第4号館 082-228-6172(直)
四国行政評価支局 総務課	〒760-0068 高松市松島町1-17-33 高松第2地方合同庁舎 087-831-3101(直)
九州管区行政評価局 総務課	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎 092-431-7081(直)
沖縄行政評価事務所 総務課	〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎 098-866-0145(直)

採用予定部局 総合通信局

採用窓口	連絡先
北海道総合通信局 総務部総務課	〒060-8795 札幌市北区北8条西2-1-1 札幌第1合同庁舎 011-709-2311(代) (内線)4607
東北総合通信局 総務部総務課	〒980-8795 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎 022-221-0606(直)
関東総合通信局 総務部総務課	〒102-8795 千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎22階 03-6238-1625(直)
信越総合通信局 総務部総務課	〒380-8795 長野市旭町1108 長野第1合同庁舎 026-234-9964(直)
北陸総合通信局 総務部総務課	〒920-8795 金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎 076-233-4413(直)
東海総合通信局 総務部総務課	〒461-8795 名古屋市東区白壁1-15-1 名古屋合同庁舎第3号館 052-971-9106(直)
近畿総合通信局 総務部総務課	〒540-8795 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館 06-6942-8507(直)
中国総合通信局 総務部総務課	〒730-8795 広島市中区東白島町19-36 082-222-3306(直)
四国総合通信局 総務部総務課	〒790-8795 松山市宮田町8-5 089-936-5012(直)
九州総合通信局 総務部総務課	〒860-8795 熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎 096-326-7809(直)
沖縄総合通信事務所 総務課	〒900-8795 那覇市旭町1-9 カフーナ旭橋B-1街区5F 098-865-2300(直)



■ 所在地 ■

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2
 中央合同庁舎第2号館
 tel 03(5253)5111(代)

■ 交通アクセス ■

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞が関」駅下車 **A2** 出口徒歩1分
 有楽町「桜田門」駅下車 **4** 番出口徒歩3分
 銀座線「虎ノ門」駅下車 **6** 番出口徒歩約8分

■ ホームページ ■

<http://www.soumu.go.jp/>